

**こころの健康と生きるための支援に関する  
焼津市民意識調査結果報告書**

**平成 30 年 10 月  
焼津市**



# 目次

<b>1 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 目的 .....	1
(2) 対象 .....	1
(3) 期間 .....	1
(4) 方法 .....	1
(5) 回収状況 .....	1
(6) 調査結果の表示について .....	1
<b>2 調査結果</b> .....	<b>2</b>
<b>I はじめに、あなたのことについておたずねします</b> .....	<b>2</b>
問 1 あなたの性別を教えてください。 .....	2
問 2 あなたの年齢（4月1日現在）を教えてください。 .....	3
問 3 あなたがお住まいの地域は、次のどちらですか。 .....	4
問 4 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。 .....	5
問 5 あなたの家の世帯構成をお選びください。 .....	6
問 6 配偶者との現在の関係をお選びください。 .....	7
問 7 あなたの主たるご職業をお選びください。 .....	8
問 8 あなたは、町内の人や近所の人と話をしたり、交流したりする機会がありますか。 .....	9
問 9 あなたの身の回りの人間関係はどうか教えてください。 .....	10
問 10 ご家庭の家計の余裕はどの程度あるか教えてください。 .....	12
問 11 あなたは現在、どの程度幸せですか。「幸せ」を10点で表すと、何点だと思いますか。数字に○を付けてください。 .....	13
<b>II 悩みやストレスに関しておたずねします</b> .....	<b>14</b>
問 12 あなたは日頃、aからgのそれぞれの問題に関して、悩みや苦労、ストレス、不満を感じることがあります。 .....	14
問 13 あなたは日々の生活の中で、次のように感じることはありますか。 .....	16
問 14 あなたは日常生活の不満、悩み、苦労、ストレスを解消するために、次のことをどのくらいしますか。 .....	18
問 15 あなたは、もし仮に、「うつ病のサイン」が2週間以上続く場合、医療機関を受診しますか。 .....	20
問 15-1 それはどのような理由からですか。 .....	21
<b>III 相談することについておたずねします</b> .....	<b>22</b>
問 16 あなたは悩みやストレスを感じた時に、どう考えますか。 .....	22
問 17 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の人々に相談すると思いますか。 .....	24
問 18 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の方法を使って悩みを相談したいと思いますか。 .....	26
<b>IV 相談を受けることについておたずねします</b> .....	<b>28</b>

問 19 理由は分からないけれども、身近な人がいつもと違った様子で辛そうに見えた時に、あなたがどうするかについてお聞きします。.....	28
<b>V 生きていることが辛いと思っている人に対し、あなたはどうしますか.....</b>	<b>30</b>
問 20 あなたは、辛いことが高く限界を感じ生死を考えている人に対して、どのように思いますか。その他に思うことがあれば、「その他」の欄にご記入ください。.....	30
問 21 もし身近な人から「悩んでいる」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。.....	32
問 21-1 何もできない理由は何ですか。.....	33
<b>VI 生きることを支える啓発活動についておたずねします.....</b>	<b>34</b>
問 22 あなたはこれまで、自殺予防週間やこころの健康に関する啓発物（案内・広告等）を見たことがありますか。.....	34
問 22-1 あなたがこれまでに見たことがある啓発物は何ですか。.....	35
問 22-2 その啓発物は、どこで見ましたか。.....	35
問 22-3 その啓発物を見たとき、あなたはどうしましたか。.....	36
問 23 生きることを支えることに関する講演会や講習会に参加したことがありますか。.....	36
問 24 生きることを支えるための PR 活動（啓発物や講演会など）についてどのように思いますか。.....	37
問 25 あなたは、次の法律や言葉、窓口等を知っていますか。.....	38
問 26 あなたは、生きるための支援について、市役所がどのような情報を市民に知らせていくことが必要だと思いますか。.....	39
問 27 生きることを支えるための支援として、どのような対策が特に重要だと思いますか。.....	40
問 28 あなたはこれまでに、生きるのが辛いと考えたことはありますか。.....	42
<b>3 調査票.....</b>	<b>46</b>

# 1 調査の概要

## (1) 目的

- この調査は、市民の皆様のごころの健康に関する皆様の現状やお考えなどをお聞きし、ごころの健康と生きるための支援を推進するための基礎資料とするために実施したものです。

## (2) 対象

- 市内にお住まいの18歳以上の方2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

## (3) 期間

- 平成30年7月24日～8月10日

## (4) 方法

- 郵送配布・回収

## (5) 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000	820	41.0%

## (6) 調査結果の表示について

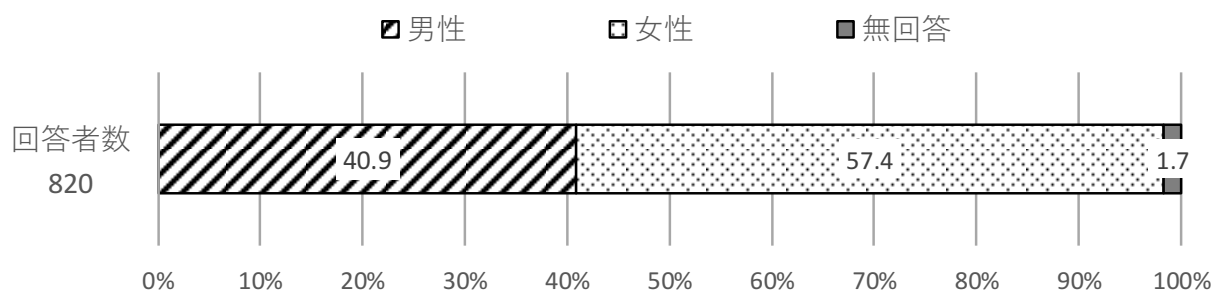
- 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（○はいくつでも等）が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計（性別・年齢別等の集計）の場合、無回答の方は記載していないため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。
- 調査結果のグラフ以外の表は、各属性で最も高い割合のものに網かけをしています。

## 2 調査結果

### I はじめに、あなたのことについておたずねします

#### 問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- 「女性」が57.4%、「男性」が40.9%となっています。
- 年齢別で見ると、いずれの年齢も「女性」が比較的高く、10・20歳代、30歳代、40歳代は「女性」が60%以上となっています。

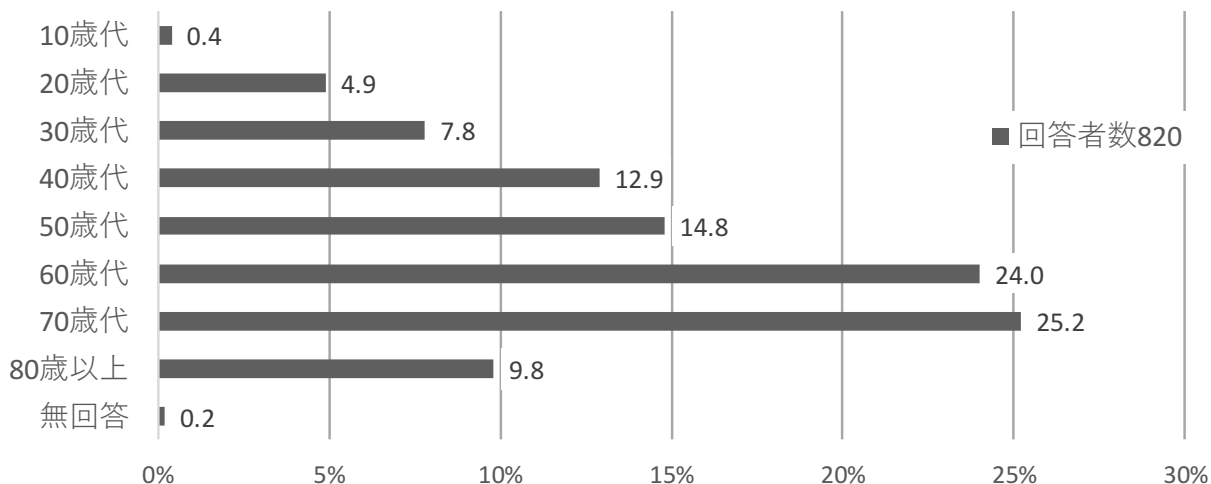


#### 【年齢別】

	合計	男性	女性	無回答
全体	820	40.9%	57.4%	1.7%
10・20歳代	43	37.2%	62.8%	0.0%
30歳代	64	34.4%	65.6%	0.0%
40歳代	106	36.8%	63.2%	0.0%
50歳代	121	40.5%	58.7%	0.8%
60歳代	197	43.7%	56.3%	0.0%
70歳代	207	42.0%	54.6%	3.4%
80歳以上	80	45.0%	50.0%	5.0%

**問2 あなたの年齢（4月1日現在）を教えてください。（○は1つ）**

- 「70歳代」が25.2%、「60歳代」が24.0%とこれらが上位2つで、この2つの年齢が回答者の半数近くを占めています。
- 性別で見ると、男女ともに「70歳代」と「60歳代」が上位2つとなっており、男女による年齢構成の大きな差は見られません。

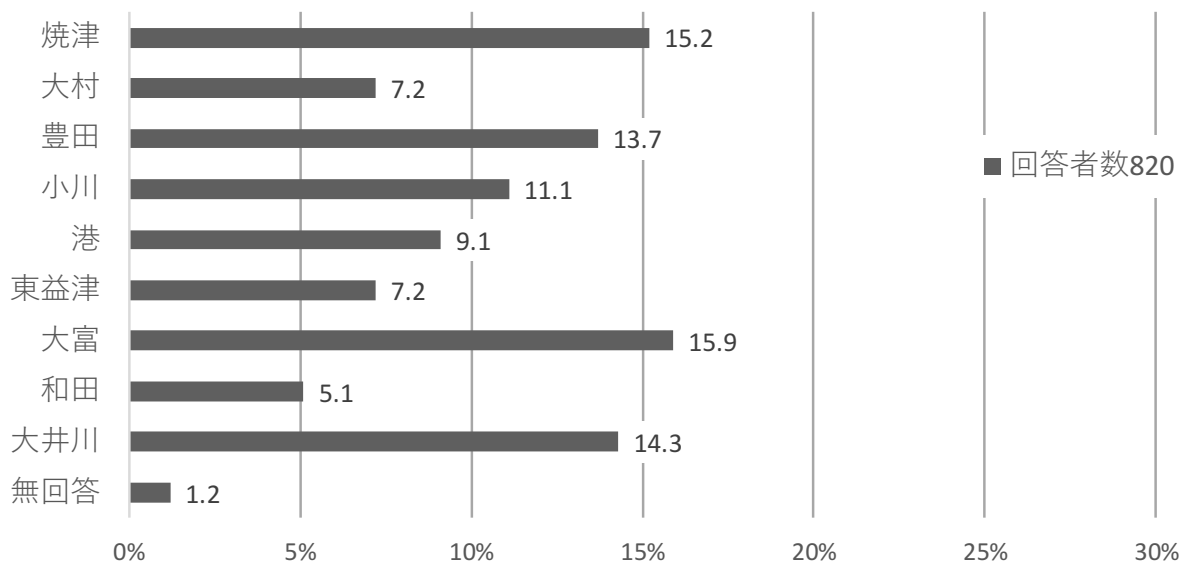


**【性別】**

	回答者数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	820	0.4%	4.9%	7.8%	12.9%	14.8%	24.0%	25.2%	9.8%	0.2%
男性	335	0.0%	4.8%	6.6%	11.6%	14.6%	25.7%	26.0%	10.7%	0.0%
女性	471	0.6%	5.1%	8.9%	14.2%	15.1%	23.6%	24.0%	8.5%	0.0%

### 問3 あなたがお住まいの地域は、次のどちらですか。（○は1つ）

- 「大富」が15.9%、「焼津」が15.2%とこれらが上位2つで、次いで「大井川」が14.3%、「豊田」が13.7%と続いています。
- 年齢別で見ると、10・20歳代は「大井川」が20.9%、30歳代は「焼津」が29.6%、40歳代は「大富」が20.7%と比較的高くなっています。
- 現在のお住まいでの居住年数別で見ると、5年未満の場合は「豊田」が22.8%、5年以上10年未満の場合は「焼津」が21.2%と比較的高くなっています。



#### 【年齢別】

	回答者数	焼津	大村	豊田	小川	港	東益津	大富	和田	大井川	無回答
全体	820	15.2%	7.2%	13.7%	11.1%	9.1%	7.2%	15.9%	5.1%	14.3%	1.2%
10・20歳代	43	18.6%	9.3%	16.3%	7.0%	2.3%	9.3%	14.0%	2.3%	20.9%	0.0%
30歳代	64	29.6%	9.4%	17.2%	15.6%	1.6%	0.0%	15.6%	0.0%	9.4%	1.6%
40歳代	106	14.2%	8.5%	13.2%	8.5%	12.3%	5.7%	20.7%	2.8%	13.2%	0.9%
50歳代	121	11.6%	10.7%	13.2%	9.9%	10.7%	7.4%	15.8%	4.1%	14.9%	1.7%
60歳代	197	12.2%	6.6%	13.7%	11.7%	9.6%	6.1%	14.2%	7.6%	17.8%	0.5%
70歳代	207	16.5%	4.3%	12.1%	14.0%	10.1%	9.7%	15.9%	6.3%	10.6%	0.5%
80歳以上	80	13.8%	6.3%	15.0%	6.3%	8.8%	10.0%	15.0%	6.3%	16.0%	2.5%

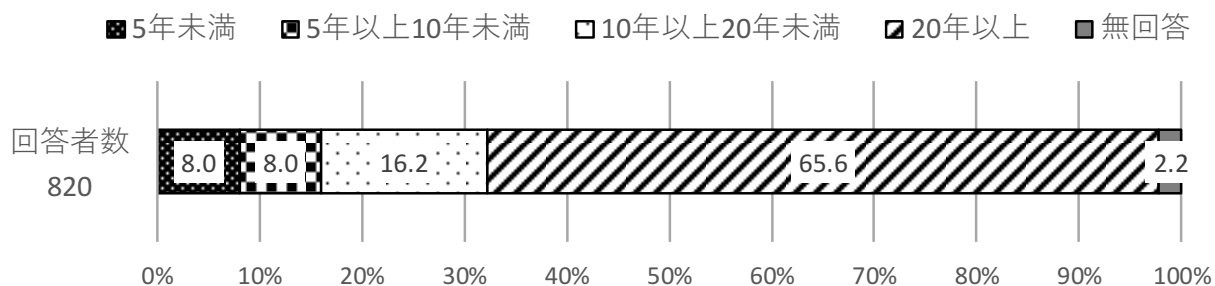
#### 【現在のお住まいでの居住年数別】

	回答者数	焼津	大村	豊田	小川	港	東益津	大富	和田	大井川	無回答
全体	820	15.2%	7.2%	13.7%	11.1%	9.1%	7.2%	15.9%	5.1%	14.3%	1.2%
5年未満	66	16.7%	7.6%	22.8%	21.2%	4.5%	3.0%	13.6%	3.0%	6.1%	1.5%
5年以上10年未満	66	21.2%	10.6%	18.2%	9.1%	9.1%	4.5%	16.7%	3.0%	6.1%	1.5%
10年以上20年未満	133	12.8%	11.3%	10.5%	15.8%	10.5%	6.8%	14.3%	3.0%	15.0%	0.0%
20年以上	537	15.1%	5.8%	12.8%	8.8%	9.7%	8.4%	16.2%	6.1%	16.0%	1.1%



#### 問4 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。(数字記入を加工)

- 「20年以上」が65.6%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が16.2%、「5年未満」と「5年以上10年未満」がいずれも8.0%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性では、いずれの年齢も「20年以上」が最も高く、30歳代は「5年未満」も31.8%と、他の年齢と比べて高くなっています。
- 女性では、30歳代は「5年未満」が47.6%、40歳代は「10年以上20年未満」が38.8%と、それぞれ比較的高くなっています。

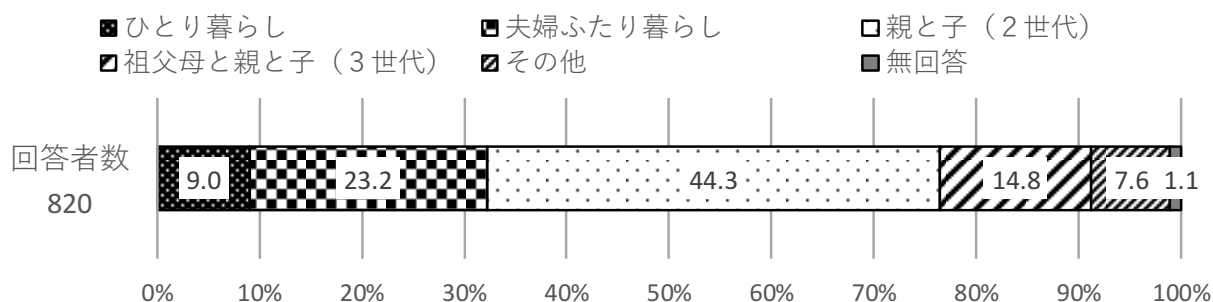


#### 【性別・年齢別】

	回答者数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体	820	8.0%	8.0%	16.2%	65.6%	2.2%
男性-10・20歳代	16	18.8%	6.3%	31.3%	43.6%	0.0%
男性-30歳代	22	31.8%	18.2%	13.6%	36.4%	0.0%
男性-40歳代	39	17.9%	7.7%	33.3%	38.5%	2.6%
男性-50歳代	49	6.1%	4.1%	24.5%	63.3%	2.0%
男性-60歳代	86	3.5%	4.7%	8.1%	82.5%	1.2%
男性-70歳代	87	1.1%	6.9%	10.3%	80.6%	1.1%
男性-80歳以上	36	0.0%	0.0%	2.8%	91.6%	5.6%
女性-10・20歳代	27	22.2%	11.1%	18.5%	44.5%	3.7%
女性-30歳代	42	47.6%	11.9%	11.9%	28.6%	0.0%
女性-40歳代	67	9.0%	20.9%	38.8%	31.3%	0.0%
女性-50歳代	71	5.6%	5.6%	23.9%	64.9%	0.0%
女性-60歳代	111	1.8%	9.9%	11.7%	73.9%	2.7%
女性-70歳代	113	2.7%	2.7%	13.3%	76.9%	4.4%
女性-80歳以上	40	2.5%	7.5%	5.0%	85.0%	0.0%

### 問5 あなたの家の世帯構成をお選びください。(○は1つ)

- 「親と子（2世代）」が44.3%と最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が23.2%、「祖父母と親と子（3世代）」が14.8%、「ひとり暮らし」が9.0%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の60歳代と70歳代、女性の60歳代は「夫婦ふたり暮らし」が比較的高くなっています。

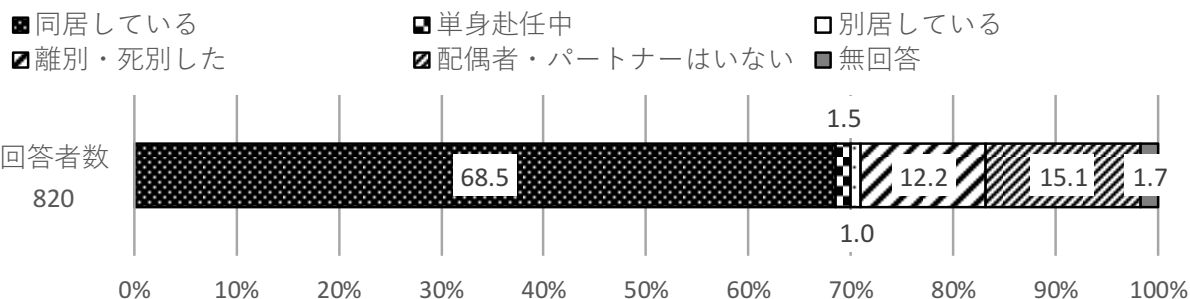


#### 【性別・年齢別】

	回答者数	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	親と子（2世代）	祖父母と親と子（3世代）	その他	無回答
全体	820	9.0%	23.2%	44.3%	14.8%	7.6%	1.1%
男性-10・20歳代	16	6.3%	0.0%	37.5%	43.7%	12.5%	0.0%
男性-30歳代	22	0.0%	13.6%	72.8%	9.1%	0.0%	4.5%
男性-40歳代	39	5.1%	5.1%	66.7%	20.5%	2.6%	0.0%
男性-50歳代	49	12.2%	6.1%	61.3%	10.2%	10.2%	0.0%
男性-60歳代	86	4.7%	44.1%	32.6%	15.1%	3.5%	0.0%
男性-70歳代	87	6.9%	39.1%	36.8%	5.7%	11.5%	0.0%
男性-80歳以上	36	5.6%	36.1%	41.6%	8.3%	5.6%	2.8%
女性-10・20歳代	27	7.4%	0.0%	40.7%	44.5%	7.4%	0.0%
女性-30歳代	42	2.4%	2.4%	73.7%	16.7%	2.4%	2.4%
女性-40歳代	67	6.0%	7.5%	49.2%	26.9%	10.4%	0.0%
女性-50歳代	71	2.8%	16.9%	52.1%	18.3%	9.9%	0.0%
女性-60歳代	111	9.0%	37.0%	36.0%	10.8%	6.3%	0.9%
女性-70歳代	113	21.2%	24.8%	32.8%	8.8%	10.6%	1.8%
女性-80歳以上	40	17.5%	20.0%	40.0%	15.0%	5.0%	2.5%

### 問6 配偶者との現在の関係をお選びください。(○は1つ)

- 「同居している」が68.5%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーはいない」が15.1%、「離別・死別した」が12.2%、「単身赴任中」が1.5%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の10・20歳代と30歳代、女性の10・20歳代は「配偶者・パートナーはいない」が半数以上となっています。

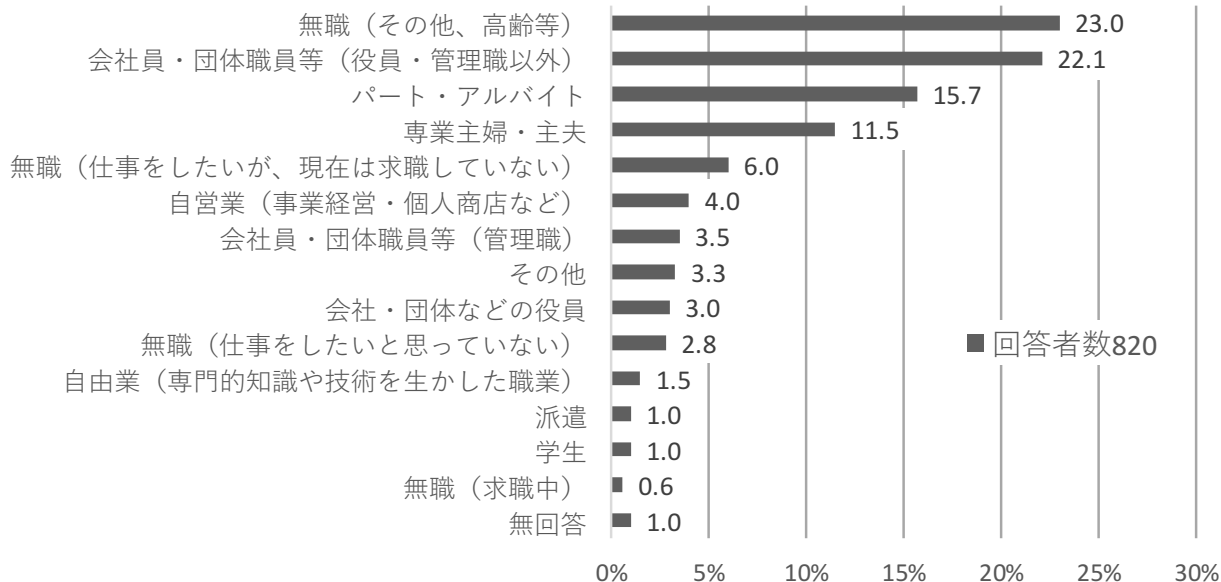


#### 【性別・年齢別】

	回答者数	同居している	単身赴任中	別居している	離別・死別した	配偶者・パートナーはいない	無回答
全体	820	68.5%	1.5%	1.0%	12.2%	15.1%	1.7%
男性-10・20歳代	16	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	93.7%	0.0%
男性-30歳代	22	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
男性-40歳代	39	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%
男性-50歳代	49	65.3%	4.1%	0.0%	2.0%	28.6%	0.0%
男性-60歳代	86	93.0%	0.0%	1.2%	2.3%	2.3%	1.2%
男性-70歳代	87	86.3%	0.0%	1.1%	6.9%	4.6%	1.1%
男性-80歳以上	36	72.1%	0.0%	2.8%	13.9%	5.6%	5.6%
女性-10・20歳代	27	25.9%	0.0%	0.0%	0.0%	70.4%	3.7%
女性-30歳代	42	64.2%	4.8%	0.0%	2.4%	28.6%	0.0%
女性-40歳代	67	73.1%	3.0%	0.0%	9.0%	14.9%	0.0%
女性-50歳代	71	73.2%	5.6%	1.4%	8.5%	9.9%	1.4%
女性-60歳代	111	78.4%	0.9%	0.0%	14.4%	6.3%	0.0%
女性-70歳代	113	58.4%	0.9%	1.8%	31.9%	3.5%	3.5%
女性-80歳以上	40	42.5%	0.0%	5.0%	40.0%	10.0%	2.5%

問7 あなたの主たるご職業をお選びください。(○は1つ)

- 「無職（その他、高齢等）」が23.0%、「会社員・団体職員等（役員・管理職以外）」が22.1%とこれらが上位2つで、次いで「パート・アルバイト」が15.7%、「専業主婦・主夫」が11.5%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の60歳代以下、女性の40歳代以下は「会社員・団体職員等（役員・管理職以外）」が最も高く、女性の50歳代と60歳代は「パート・アルバイト」が最も高くなっています。

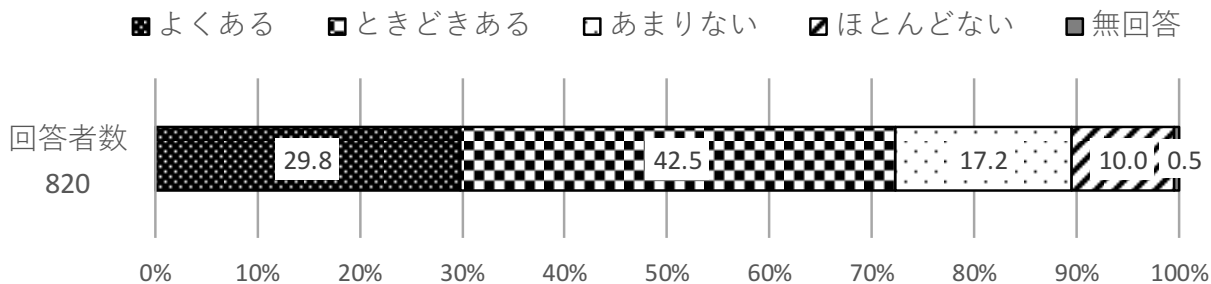


【性別・年齢別】

	回答者数	会社・団体などの役員	会社員・団体職員等（管理職）	会社員・団体職員等（役員・管理職以外）	自営業（事業経営・個人商店など）	派遣	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	自由業（専門的知識や技術を生かした職業）	その他	無職（求職中）	現在は求職していないが、無職（仕事をしたい）	無職（仕事をしたいと思っていない）	無職（その他、高齢等）	無回答
全体	820	3.0%	3.5%	22.1%	4.0%	1.0%	15.7%	11.5%	1.0%	1.5%	3.3%	0.6%	6.0%	2.8%	23.0%	1.0%
男性-10・20歳代	16	0.0%	0.0%	68.6%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
男性-30歳代	22	9.1%	9.1%	54.6%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
男性-40歳代	39	0.0%	12.8%	66.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	5.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
男性-50歳代	49	6.1%	24.5%	47.0%	6.1%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	4.1%	0.0%	2.0%	0.0%
男性-60歳代	86	1.2%	3.5%	31.2%	8.1%	1.2%	19.8%	0.0%	0.0%	3.5%	3.5%	1.2%	10.5%	11.6%	4.7%	0.0%
男性-70歳代	87	6.9%	0.0%	1.1%	10.3%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	1.1%	10.3%	0.0%	5.7%	6.9%	50.9%	1.1%
男性-80歳以上	36	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	8.3%	5.6%	69.3%	2.8%
女性-10・20歳代	27	7.4%	0.0%	37.1%	0.0%	3.7%	22.2%	7.4%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
女性-30歳代	42	4.8%	2.4%	42.8%	0.0%	0.0%	19.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
女性-40歳代	67	4.5%	1.5%	34.3%	0.0%	3.0%	32.8%	17.9%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	1.5%	0.0%
女性-50歳代	71	1.4%	4.2%	26.8%	0.0%	5.6%	38.1%	12.7%	0.0%	1.4%	2.8%	1.4%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
女性-60歳代	111	2.7%	0.9%	7.2%	1.8%	0.0%	29.8%	28.8%	0.0%	0.9%	2.7%	0.9%	4.5%	2.7%	16.2%	0.9%
女性-70歳代	113	0.9%	0.0%	1.8%	6.2%	0.0%	3.5%	22.1%	0.0%	0.9%	2.7%	0.9%	8.8%	1.8%	48.6%	1.8%
女性-80歳以上	40	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	85.0%	2.5%

**問8 あなたは、町内の人や近所の人と話をしたり、交流したりする機会がありますか。(○は1つ)**

- 「ときどきある」が42.5%と最も高く、次いで「よくある」が29.8%、「あまりない」が17.2%、「ほとんどない」が10.0%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の30歳代は「ほとんどない」が45.4%と最も高い一方、女性の30歳代は「ときどきある」が43.0%と最も高くなっています。
- 男性の60歳代と70歳代、女性の80歳以上は「よくある」が最も高くなっています。

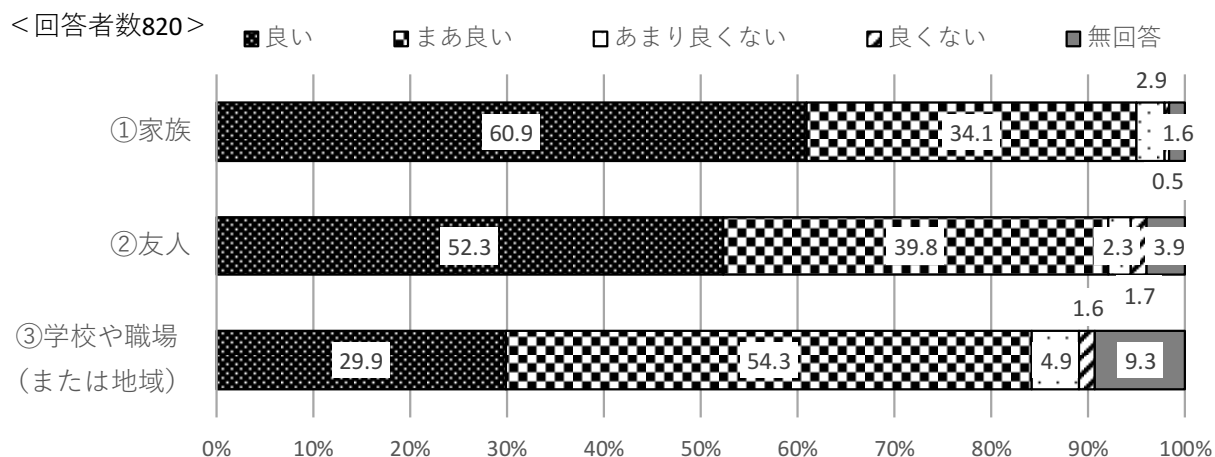


**【性別・年齢別】**

	回答者数	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	無回答
全体	820	29.8%	42.5%	17.2%	10.0%	0.5%
男性-10・20歳代	16	0.0%	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%
男性-30歳代	22	9.1%	18.2%	27.3%	45.4%	0.0%
男性-40歳代	39	10.3%	48.7%	23.1%	17.9%	0.0%
男性-50歳代	49	24.5%	40.9%	22.4%	10.2%	2.0%
男性-60歳代	86	45.3%	39.5%	10.5%	4.7%	0.0%
男性-70歳代	87	44.9%	31.0%	21.8%	2.3%	0.0%
男性-80歳以上	36	30.6%	47.1%	13.9%	5.6%	2.8%
女性-10・20歳代	27	11.1%	22.2%	37.1%	25.9%	3.7%
女性-30歳代	42	19.0%	43.0%	19.0%	19.0%	0.0%
女性-40歳代	67	22.4%	50.8%	13.4%	13.4%	0.0%
女性-50歳代	71	14.1%	52.1%	18.3%	15.5%	0.0%
女性-60歳代	111	27.0%	52.3%	18.9%	1.8%	0.0%
女性-70歳代	113	41.6%	43.4%	10.6%	4.4%	0.0%
女性-80歳以上	40	42.5%	40.0%	10.0%	7.5%	0.0%

### 問9 あなたの身の周りの人間関係はどうか教えてください。(それぞれに○は1つ)

- ①家族については、「良い」が60.9%と最も高く、次いで「まあ良い」が34.1%、「あまり良くない」が2.9%、「良くない」が0.5%と続いています。
- ②友人については、「良い」が52.3%と最も高く、次いで「まあ良い」が39.8%、「あまり良くない」が2.3%、「良くない」が1.7%と続いています。
- ③学校や職場（または地域）については、「まあ良い」が54.3%と最も高く、次いで「良い」が29.9%、「あまり良くない」が4.9%、「良くない」が1.6%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、①家族についてはいずれの性別・年齢も「良い」が最も高く、②友人については一部の性別・年齢、③学校や職場（または地域）については男性の70歳代以外はいずれも「まあ良い」が最も高くなっています。



#### 【性別・年齢別】

##### ①家族

	回答者数	良い	まあ良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体	820	60.9%	34.1%	2.9%	0.5%	1.6%
男性-10・20歳代	16	49.9%	43.8%	6.3%	0.0%	0.0%
男性-30歳代	22	50.0%	45.5%	0.0%	4.5%	0.0%
男性-40歳代	39	53.9%	41.0%	5.1%	0.0%	0.0%
男性-50歳代	49	61.2%	28.6%	6.1%	0.0%	4.1%
男性-60歳代	86	67.4%	29.1%	2.3%	1.2%	0.0%
男性-70歳代	87	71.4%	24.1%	2.3%	1.1%	1.1%
男性-80歳以上	36	52.8%	44.4%	2.8%	0.0%	0.0%
女性-10・20歳代	27	55.6%	33.3%	7.4%	3.7%	0.0%
女性-30歳代	42	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%
女性-40歳代	67	65.7%	31.3%	0.0%	0.0%	3.0%
女性-50歳代	71	47.9%	46.5%	5.6%	0.0%	0.0%
女性-60歳代	111	55.9%	39.6%	2.7%	0.0%	1.8%
女性-70歳代	113	68.2%	26.5%	1.8%	0.0%	3.5%
女性-80歳以上	40	60.0%	35.0%	2.5%	0.0%	2.5%

## ②友人

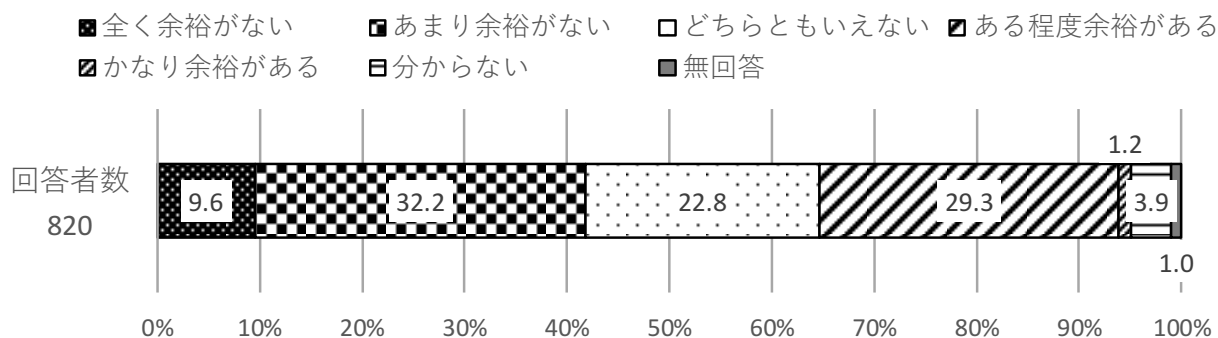
	回答者数	良い	まあ良い	あまり良く ない	良くない	無回答
全体	820	52.3%	39.8%	2.3%	1.7%	3.9%
男性-10・20歳代	16	37.5%	49.9%	0.0%	6.3%	6.3%
男性-30歳代	22	50.0%	40.9%	0.0%	9.1%	0.0%
男性-40歳代	39	30.8%	64.0%	0.0%	2.6%	2.6%
男性-50歳代	49	40.8%	42.9%	10.2%	6.1%	0.0%
男性-60歳代	86	54.6%	38.4%	1.2%	2.3%	3.5%
男性-70歳代	87	54.1%	39.1%	2.3%	1.1%	3.4%
男性-80歳以上	36	33.3%	44.4%	5.6%	5.6%	11.1%
女性-10・20歳代	27	51.9%	48.1%	0.0%	0.0%	0.0%
女性-30歳代	42	61.9%	33.3%	2.4%	2.4%	0.0%
女性-40歳代	67	59.7%	34.3%	1.5%	0.0%	4.5%
女性-50歳代	71	45.1%	47.9%	2.8%	0.0%	4.2%
女性-60歳代	111	55.0%	40.5%	2.7%	0.0%	1.8%
女性-70歳代	113	63.7%	31.0%	1.8%	0.0%	3.5%
女性-80歳以上	40	52.5%	32.5%	0.0%	0.0%	15.0%

## ③学校や職場（または地域）

	回答者数	良い	まあ良い	あまり良く ない	良くない	無回答
全体	820	29.9%	54.3%	4.9%	1.6%	9.3%
男性-10・20歳代	16	31.3%	49.9%	12.5%	0.0%	6.3%
男性-30歳代	22	27.3%	54.6%	13.6%	4.5%	0.0%
男性-40歳代	39	20.5%	64.1%	15.4%	0.0%	0.0%
男性-50歳代	49	32.7%	51.0%	12.2%	4.1%	0.0%
男性-60歳代	86	32.6%	59.2%	4.7%	2.3%	1.2%
男性-70歳代	87	40.3%	37.9%	1.1%	2.3%	18.4%
男性-80歳以上	36	16.7%	61.0%	5.6%	5.6%	11.1%
女性-10・20歳代	27	33.3%	51.9%	11.1%	0.0%	3.7%
女性-30歳代	42	33.3%	57.2%	7.1%	2.4%	0.0%
女性-40歳代	67	40.3%	50.7%	4.5%	1.5%	3.0%
女性-50歳代	71	25.4%	66.2%	4.2%	0.0%	4.2%
女性-60歳代	111	23.4%	62.2%	1.8%	0.9%	11.7%
女性-70歳代	113	31.9%	49.5%	0.9%	0.9%	16.8%
女性-80歳以上	40	22.5%	47.5%	2.5%	0.0%	27.5%

### 問 10 ご家庭の家計の余裕はどの程度あるか教えてください。(○は1つ)

- 「あまり余裕がない」が32.2%、「ある程度余裕がある」が29.3%とこれらが上位2つで、次いで「どちらともいえない」が22.8%、「全く余裕がない」が9.6%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の60歳代は「ある程度余裕がある」が34.8%、80歳以上は「どちらともいえない」が38.8%と比較的高く、女性の40歳代と80歳以上は「ある程度余裕がある」、50歳代は「どちらともいえない」が比較的高くなっています。



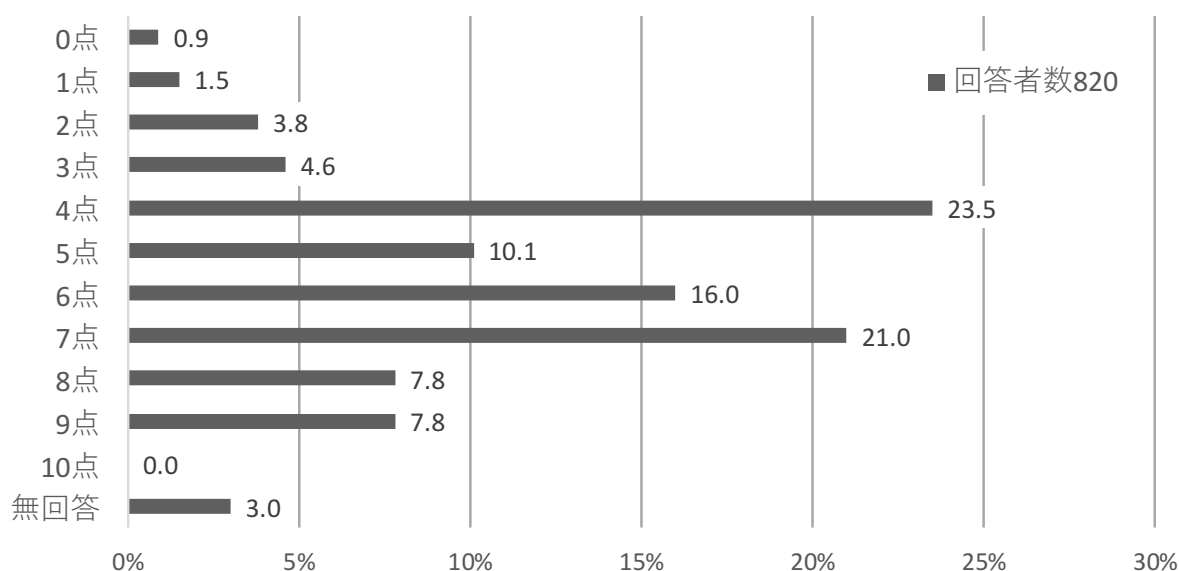
#### 【性別・年齢別】

	回答者数	全く余裕がない	あまり余裕がない	どちらともいえない	ある程度余裕がある	かなり余裕がある	分からない	無回答
全体	820	9.6%	32.2%	22.8%	29.3%	1.2%	3.9%	1.0%
男性-10・20歳代	16	6.3%	31.1%	25.0%	18.8%	0.0%	18.8%	0.0%
男性-30歳代	22	4.5%	36.5%	13.6%	31.8%	0.0%	13.6%	0.0%
男性-40歳代	39	7.7%	43.6%	28.2%	15.4%	0.0%	0.0%	5.1%
男性-50歳代	49	12.2%	36.8%	16.3%	32.7%	0.0%	2.0%	0.0%
男性-60歳代	86	10.5%	30.2%	23.3%	34.8%	1.2%	0.0%	0.0%
男性-70歳代	87	1.1%	42.7%	24.1%	27.6%	1.1%	3.4%	0.0%
男性-80歳以上	36	5.6%	22.2%	38.8%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%
女性-10・20歳代	27	11.1%	48.2%	3.7%	22.2%	0.0%	11.1%	3.7%
女性-30歳代	42	11.9%	35.7%	19.0%	31.0%	0.0%	2.4%	0.0%
女性-40歳代	67	16.4%	20.9%	23.9%	29.8%	0.0%	9.0%	0.0%
女性-50歳代	71	12.7%	28.2%	29.5%	28.2%	0.0%	1.4%	0.0%
女性-60歳代	111	14.4%	31.6%	22.5%	30.6%	0.9%	0.0%	0.0%
女性-70歳代	113	8.0%	30.1%	22.1%	29.2%	4.4%	4.4%	1.8%
女性-80歳以上	40	5.0%	27.5%	20.0%	32.5%	0.0%	12.5%	2.5%



**問 11 あなたは現在、どの程度幸せですか。「幸せ」を 10 点で表すと、何点だと思いますか。数字に○を付けてください。(○は 1 つ)**

- 「4点」が23.5%、「7点」が21.0%とこれらが上位2つで、次いで「6点」が16.0%、「5点」が10.1%と続いており、全体では平均点が5.60点となっています。
- 性別・年齢別で見ると、平均点は女性の30歳代が6.05点と最も高く、次いで女性の40歳代と80歳以上がいずれも5.89点と、平均点の上位はいずれも女性となっており、男性の中では70歳代が5.83点と最も高くなっています。



**【性別・年齢別】(平均点)**

	回答者数	平均点
全体	795	5.60
男性-10・20歳代	16	4.38
男性-30歳代	22	4.91
男性-40歳代	38	5.42
男性-50歳代	49	4.80
男性-60歳代	84	5.76
男性-70歳代	83	5.83
男性-80歳以上	34	5.53
女性-10・20歳代	26	5.73
女性-30歳代	42	6.05
女性-40歳代	66	5.89
女性-50歳代	71	5.49
女性-60歳代	111	5.48
女性-70歳代	103	5.81
女性-80歳以上	37	5.89

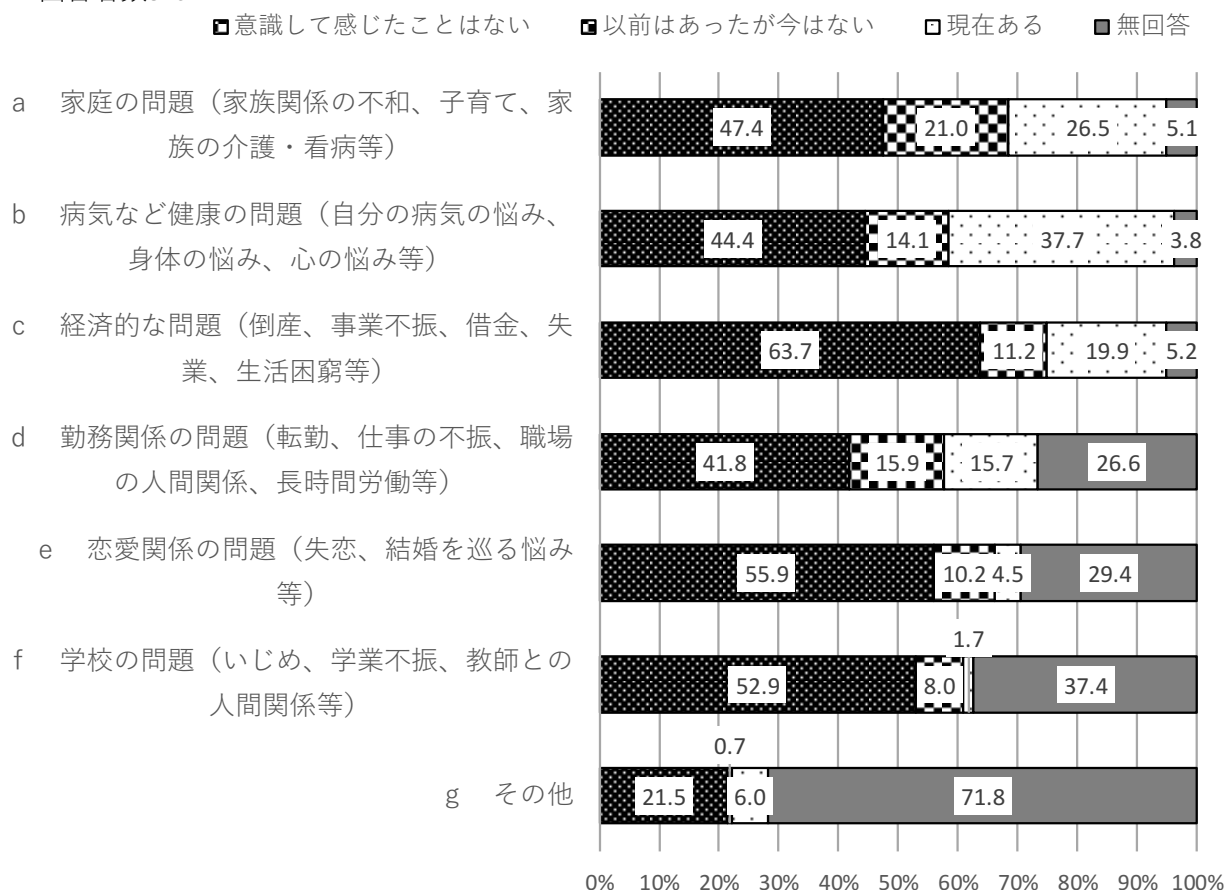
※平均点は、無回答の方を除いて算出

## Ⅱ 悩みやストレスに関しておたずねします

問12 あなたは日頃、aからgのそれぞれの問題に関して、悩みや苦勞、ストレス、不満を感じることはありませんか。(それぞれに○は1つ)

- 「現在ある」との回答は、“b 病気など健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み等）”が37.7%と比較的高く、“a 家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）”が26.5%、“経済的な問題（倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮等）”が19.9%、“勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等）”が15.7%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「現在ある」との回答は、男女ともに10・20歳代と30歳代は“勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等）”が比較的高く、男女ともに40歳代は“a 家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）”が比較的高くなっています。

<回答者数820>



【性別・年齢別】（「現在ある」との回答率）

	回答者数	家庭の問題 （家族関係 の不和、子 育て、家族 の介護・看 病等）	病気など健 康の問題 （自分の病 気の悩み、 身体の悩 み、心の悩 み等）	経済的な問 題（倒産、 事業不振、 借金、失 業、生活困 窮等）	勤務関係の 問題（転 勤、仕事の 不振、職場 の人間関 係、長時間 労働等）	恋愛関係の 問題（失 恋、結婚を 巡る悩み 等）	学校の問題 （いじめ、 学業不振、 教師との人 間関係等）	その他	無回答
全体	820	26.5%	37.7%	19.9%	15.7%	4.5%	1.7%	6.0%	41.0%
男性-10・20歳代	16	18.8%	37.5%	12.5%	43.8%	31.3%	0.0%	6.3%	43.8%
男性-30歳代	22	27.3%	36.4%	31.8%	50.0%	18.2%	0.0%	13.6%	31.8%
男性-40歳代	39	46.2%	33.3%	20.5%	35.9%	7.7%	5.1%	2.6%	38.5%
男性-50歳代	49	34.7%	51.0%	32.7%	28.6%	10.2%	4.1%	4.1%	30.6%
男性-60歳代	86	25.6%	34.9%	17.4%	12.8%	0.0%	0.0%	0.0%	45.3%
男性-70歳代	87	13.8%	36.8%	5.7%	1.1%	1.1%	0.0%	6.9%	51.7%
男性-80歳以上	36	19.4%	47.2%	11.1%	2.8%	0.0%	0.0%	11.1%	36.1%
女性-10・20歳代	27	22.2%	25.9%	18.5%	25.9%	18.5%	0.0%	7.4%	40.7%
女性-30歳代	42	31.0%	19.0%	26.2%	31.0%	11.9%	4.8%	0.0%	28.6%
女性-40歳代	67	35.8%	29.9%	26.9%	25.4%	7.5%	6.0%	10.4%	34.3%
女性-50歳代	71	43.7%	46.5%	32.4%	23.9%	1.4%	1.4%	9.9%	31.0%
女性-60歳代	111	29.7%	38.7%	19.8%	10.8%	1.8%	1.8%	6.3%	41.4%
女性-70歳代	113	14.2%	40.7%	15.0%	3.5%	0.0%	0.9%	4.4%	50.4%
女性-80歳以上	40	17.5%	32.5%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	47.5%

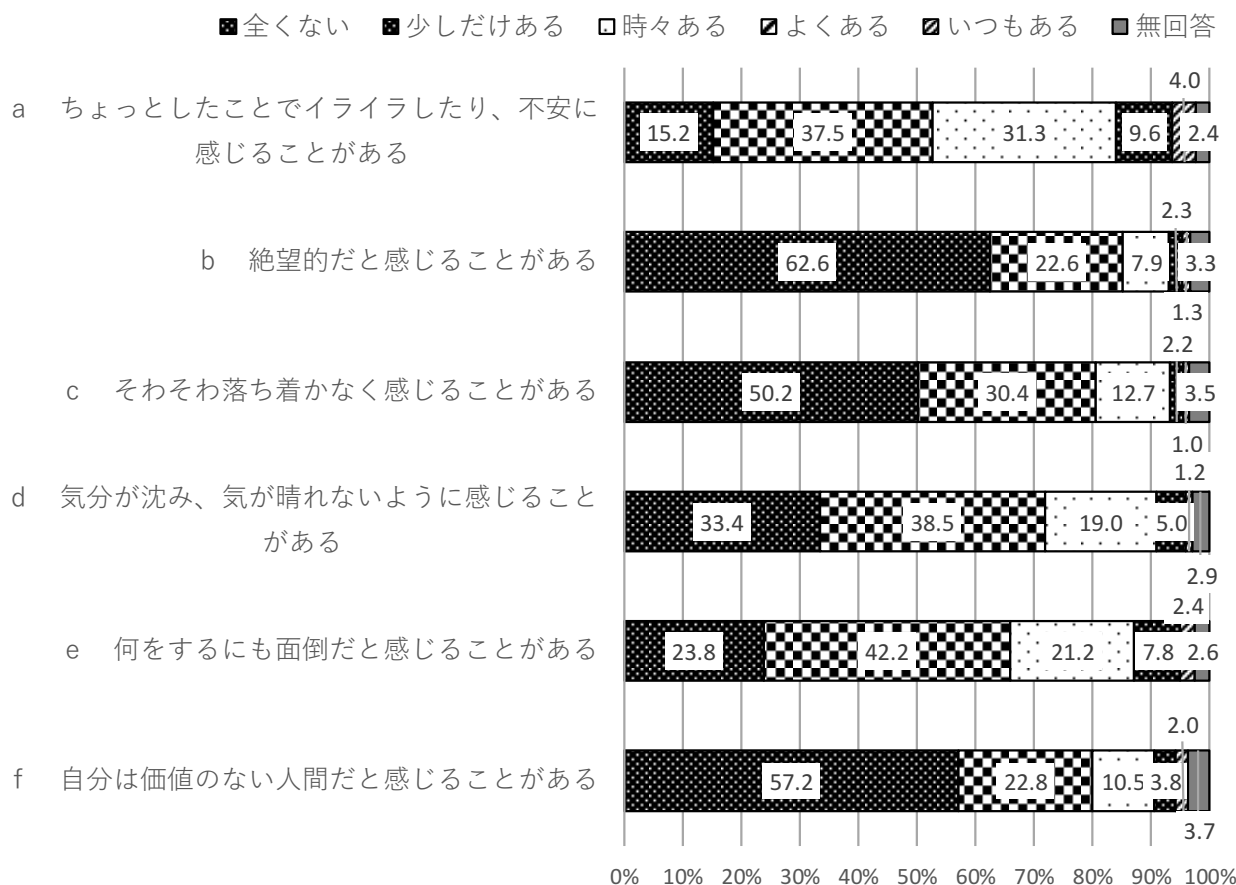
【問 12 その他の具体的な記述（主なもの）】

- 子どもがいないので一人になった時
- 友人関係（あまり深く関わりたくないと思うことが最近多い。）
- 地域サークルがない、交流がない
- 地域の人たちとの摩擦（祭り関係で）
- 未来、将来の生き方、老後など

**問 13 あなたは日々の生活の中で、次のように感じることはありませんか。(それぞれに○は1つ)**

- 「よくある」又は「いつもある」との回答は、“a ちょっとしたことでもイライラしたり、不安を感じることもある”が13.6%と比較的高く、“e 何をするにも面倒だと感じることもある”が10.2%、“d 気分が沈み、気が晴れないように感じることもある”が6.2%、“f 自分は価値のない人間だと感じることもある”が5.8%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「よくある」又は「いつもある」との回答は、男性の10・20歳代と30歳代、女性の10・20歳代は“e 何をするにも面倒だと感じることもある”が比較的高くなっています。

<回答者数820>



【性別・年齢別】（「よくある」と「いつもある」を合わせた回答率※）

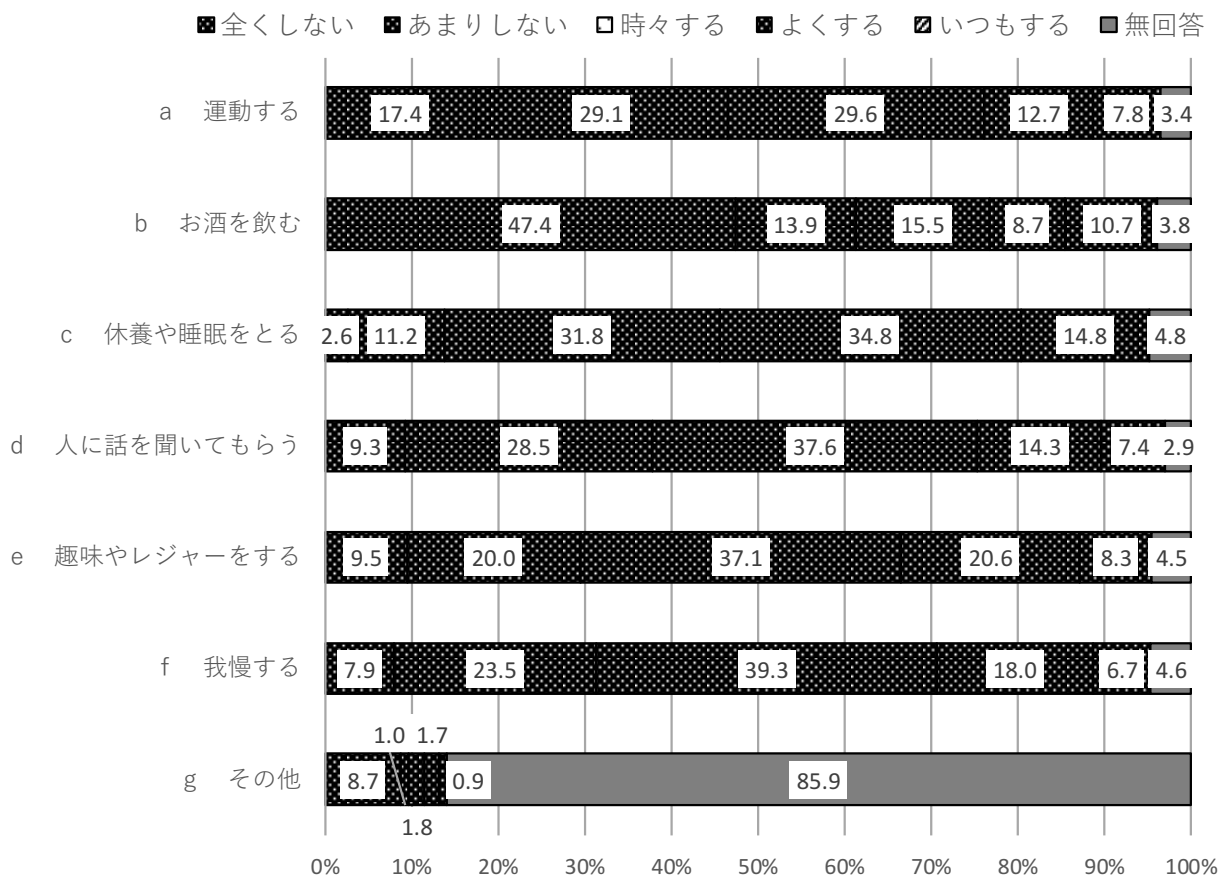
※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

	回答者数	ちょっとしたことでイライラしたり、不安に感じることがある	絶望的だと感じることがある	そろそろ落ち着かなく感じることがある	気分が沈み、気が晴れないように感じることがある	何をすることも面倒だと感じることがある	自分は価値のない人間だと感じることがある	無回答
全体	820	13.7%	3.7%	3.2%	6.2%	10.2%	5.7%	78.7%
男性-10・20歳代	16	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	31.3%	18.8%	56.3%
男性-30歳代	22	40.9%	9.1%	9.1%	13.6%	45.5%	13.6%	45.5%
男性-40歳代	39	28.2%	7.7%	2.6%	7.7%	5.1%	12.8%	66.7%
男性-50歳代	49	14.3%	6.1%	4.1%	10.2%	10.2%	8.2%	79.6%
男性-60歳代	86	3.5%	1.2%	0.0%	1.2%	5.8%	0.0%	91.9%
男性-70歳代	87	5.7%	0.0%	0.0%	2.3%	1.1%	2.3%	89.7%
男性-80歳以上	36	8.3%	5.6%	2.8%	0.0%	8.3%	2.8%	75.0%
女性-10・20歳代	27	25.9%	7.4%	18.5%	14.8%	40.7%	18.5%	51.9%
女性-30歳代	42	28.6%	2.4%	2.4%	7.1%	21.4%	2.4%	59.5%
女性-40歳代	67	25.4%	6.0%	6.0%	13.4%	11.9%	7.5%	74.6%
女性-50歳代	71	14.1%	4.2%	4.2%	8.5%	7.0%	5.6%	80.3%
女性-60歳代	111	10.8%	2.7%	0.9%	7.2%	9.0%	5.4%	78.4%
女性-70歳代	113	7.1%	2.7%	0.9%	1.8%	2.7%	5.3%	86.7%
女性-80歳以上	40	7.5%	2.5%	2.5%	2.5%	7.5%	5.0%	90.0%

**問 14 あなたは日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレスを解消するために、次のことをどのくらいしますか。**  
**(それぞれに○は1つ)**

- 「よくする」又は「いつもする」との回答は、“c 休養や睡眠をとる”が49.6%と比較的高く、“e 趣味やレジャーをする”が28.9%、“f 我慢する”が24.8%、“d 人に話を聞いてもらう”が21.7%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「よくする」又は「いつもする」との回答は、いずれの性別・年齢も“c 休養や睡眠をとる”が比較的高く、男性の30歳代は“e 趣味やレジャーをする”も比較的高くなっています。
- “f 我慢する”は、男女ともに若い年齢層ほど「よくする」又は「いつもする」との回答が高い傾向が見られます。

<回答者数820>



【性別・年齢別】（「よくする」と「いつもする」を合わせた回答率※）

※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

	回答者数	運動する	お酒を飲む	休養や睡眠をとる	人に話を聞いてもらう	趣味やレジャーをする	我慢する	その他	無回答
全体	820	20.5%	19.4%	49.6%	21.7%	28.9%	24.8%	2.6%	20.9%
男性-10・20歳代	16	25.0%	12.5%	56.3%	18.8%	43.8%	31.3%	0.0%	12.5%
男性-30歳代	22	9.1%	22.7%	50.0%	36.4%	50.0%	45.5%	9.1%	9.1%
男性-40歳代	39	20.5%	38.5%	43.6%	12.8%	33.3%	38.5%	2.6%	17.9%
男性-50歳代	49	18.4%	32.7%	57.1%	12.2%	20.4%	34.7%	2.0%	14.3%
男性-60歳代	86	27.9%	45.3%	48.8%	8.1%	32.6%	24.4%	2.3%	17.4%
男性-70歳代	87	28.7%	36.8%	55.2%	13.8%	31.0%	8.0%	0.0%	21.8%
男性-80歳以上	36	19.4%	22.2%	58.3%	11.1%	27.8%	22.2%	8.3%	16.7%
女性-10・20歳代	27	3.7%	3.7%	59.3%	40.7%	48.1%	40.7%	3.7%	7.4%
女性-30歳代	42	7.1%	7.1%	59.5%	52.4%	21.4%	45.2%	2.4%	9.5%
女性-40歳代	67	10.4%	13.4%	65.7%	38.8%	23.9%	29.9%	3.0%	11.9%
女性-50歳代	71	21.1%	11.3%	50.7%	32.4%	25.4%	25.4%	1.4%	12.7%
女性-60歳代	111	18.9%	11.7%	30.6%	16.2%	27.0%	18.9%	2.7%	32.4%
女性-70歳代	113	25.7%	4.4%	44.2%	20.4%	31.0%	20.4%	2.7%	28.3%
女性-80歳以上	40	20.0%	0.0%	42.5%	17.5%	12.5%	10.0%	0.0%	45.0%

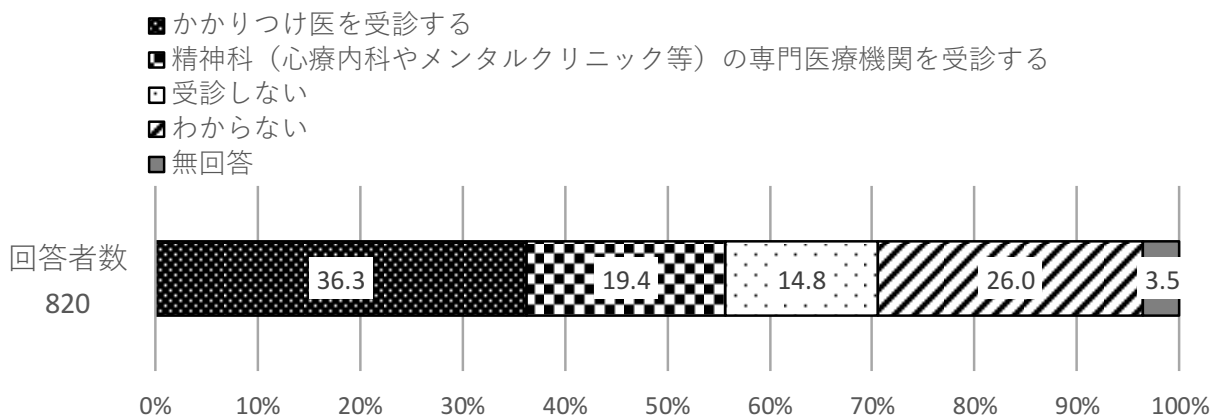
【問 14 その他の具体的な記述（主なもの）】

- 読書
- 友人と会う・話す、友人と出かける
- 買い物
- 旅行
- 運動（スキー、テニス、ウォーキング、ラジオ体操等）。
- 食べる
- カラオケ
- 歌う、声を出す
- 自分の好きなことやる

**問 15 あなたは、もし仮に、「うつ病のサイン」が 2 週間以上続く場合、医療機関を受診しますか。**

(○は1つ)

- 「かかりつけ医を受診する」が 36.3%と最も高く、次いで「わからない」が 26.0%、「精神科（心療内科やメンタルクリニック等）の専門医療機関を受診する」が 19.4%、「受診しない」が 14.8%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の 40 歳代と 50 歳代は「精神科（心療内科やメンタルクリニック等）の専門医療機関を受診する」が比較的高く、女性の 30 歳代～50 歳代は「わからない」が比較的高くなっています。
- 女性の 10・20 歳代と 30 歳代は「受診しない」が比較的高くなっています。



**【性別・年齢別】**

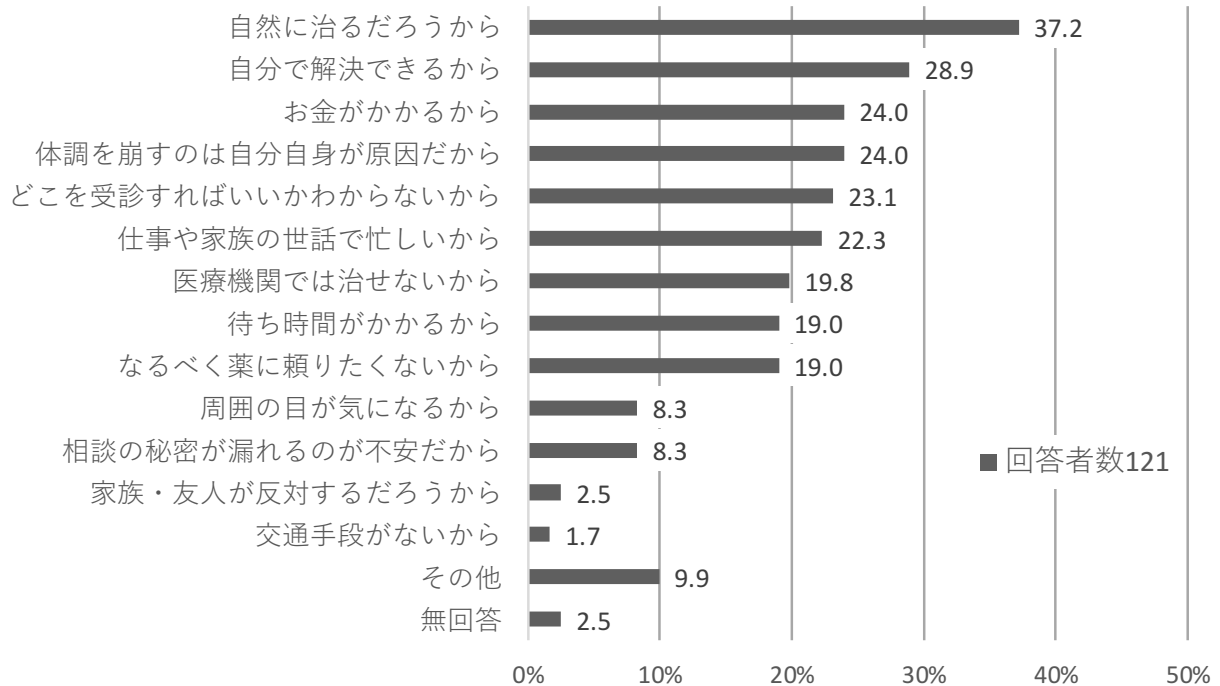
	回答者数	かかりつけ医を受診する	精神科（心療内科やメンタルクリニック等）の専門医療機関を受診する	受診しない	わからない	無回答
全体	820	36.3%	19.4%	14.8%	26.0%	3.5%
男性-10・20歳代	16	18.8%	37.4%	12.5%	31.3%	0.0%
男性-30歳代	22	18.2%	18.2%	22.7%	40.9%	0.0%
男性-40歳代	39	20.5%	30.8%	17.9%	28.2%	2.6%
男性-50歳代	49	20.4%	38.8%	16.3%	24.5%	0.0%
男性-60歳代	86	50.0%	11.6%	12.8%	25.6%	0.0%
男性-70歳代	87	50.6%	13.8%	11.5%	19.5%	4.6%
男性-80歳以上	36	66.7%	2.8%	8.3%	13.9%	8.3%
女性-10・20歳代	27	7.4%	33.3%	37.1%	22.2%	0.0%
女性-30歳代	42	2.4%	33.3%	28.6%	35.7%	0.0%
女性-40歳代	67	20.9%	29.8%	17.9%	29.9%	1.5%
女性-50歳代	71	28.2%	19.7%	19.7%	32.4%	0.0%
女性-60歳代	111	37.0%	16.2%	11.7%	34.2%	0.9%
女性-70歳代	113	49.5%	15.0%	8.0%	19.5%	8.0%
女性-80歳以上	40	57.5%	7.5%	12.5%	12.5%	10.0%



**問 15 で「3 受診しない」と回答された方にお聞きます。**

**問 15-1 それはどのような理由からですか。(○はいくつでも)**

- 「自然に治るだろうから」が 37.2%と最も高く、次いで「自分で解決できるから」が 28.9%、「お金がかかるから」と「体調を崩すのは自分自身が原因だから」がいずれも 24.0%と続いています。



**【問 15-1 その他の具体的な記述 (主なもの)】**

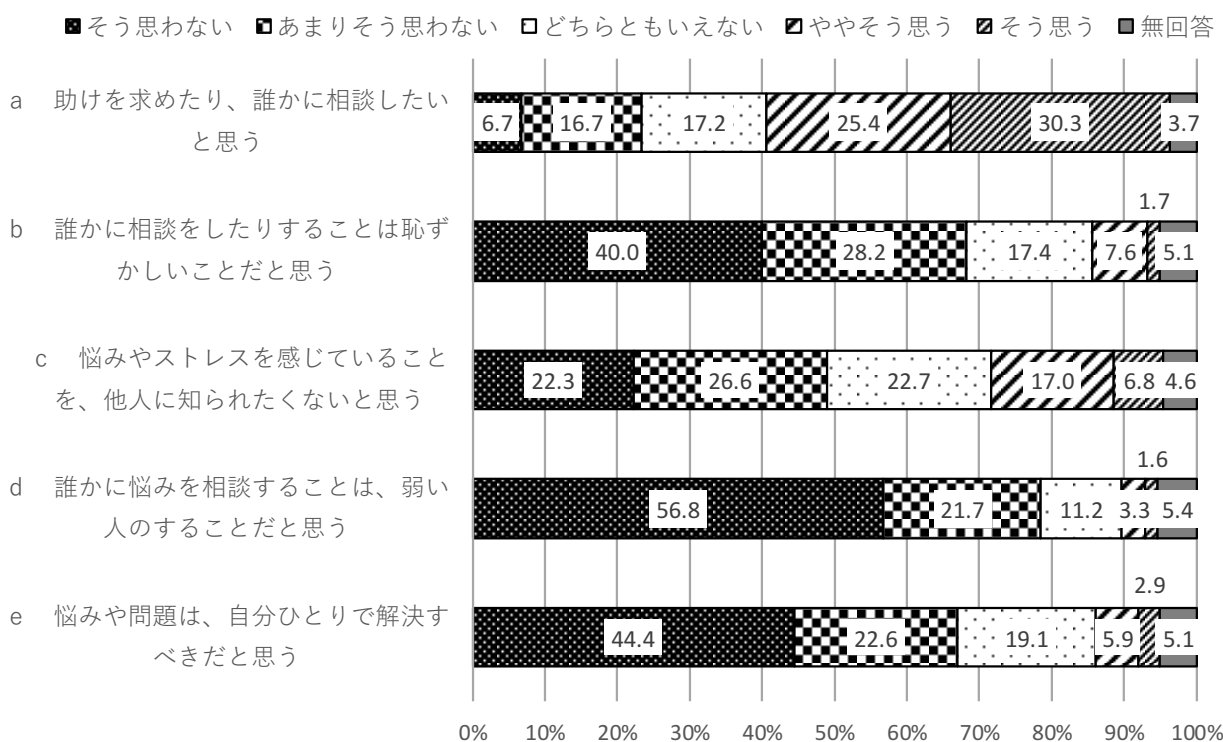
- 薬をもらっても根本的なもの(事)が解決しないと治らないと思うから。
- 面倒だから(考えるのも・行動も)
- 人に話すことにより解消
- 何年前、心療内科へ通院した経験がありますが、要は自分なのです。カウンセリングはきっかけになりましたが、自分で治そうと気付かないと、治りません。でも、前以上にひどい状態になったら、通院するかも知れません。
- 以前受診したが結局自分自身が解決するしかないから。

### Ⅲ 相談することについておたずねします

#### 問 16 あなたは悩みやストレスを感じた時に、どう考えますか。(それぞれに○は1つ)

- 「ややそう思う」又は「そう思う」との回答は、“a 助けを求めたり、誰かに相談したいと思う”が55.7%と比較的高く、次いで“c 悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う”が23.8%、“b 誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う”が9.3%、“e 悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う”が8.8%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「ややそう思う」又は「そう思う」との回答は、いずれの性別・年齢も“a 助けを求めたり、誰かに相談したいと思う”が比較的高く、“b”～“e”についてはいずれも、男性で「ややそう思う」又は「そう思う」との回答が高くなっています。

<回答者数820>



【性別・年齢別】（「ややそう思う」と「そう思う」を合わせた回答率※）

※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

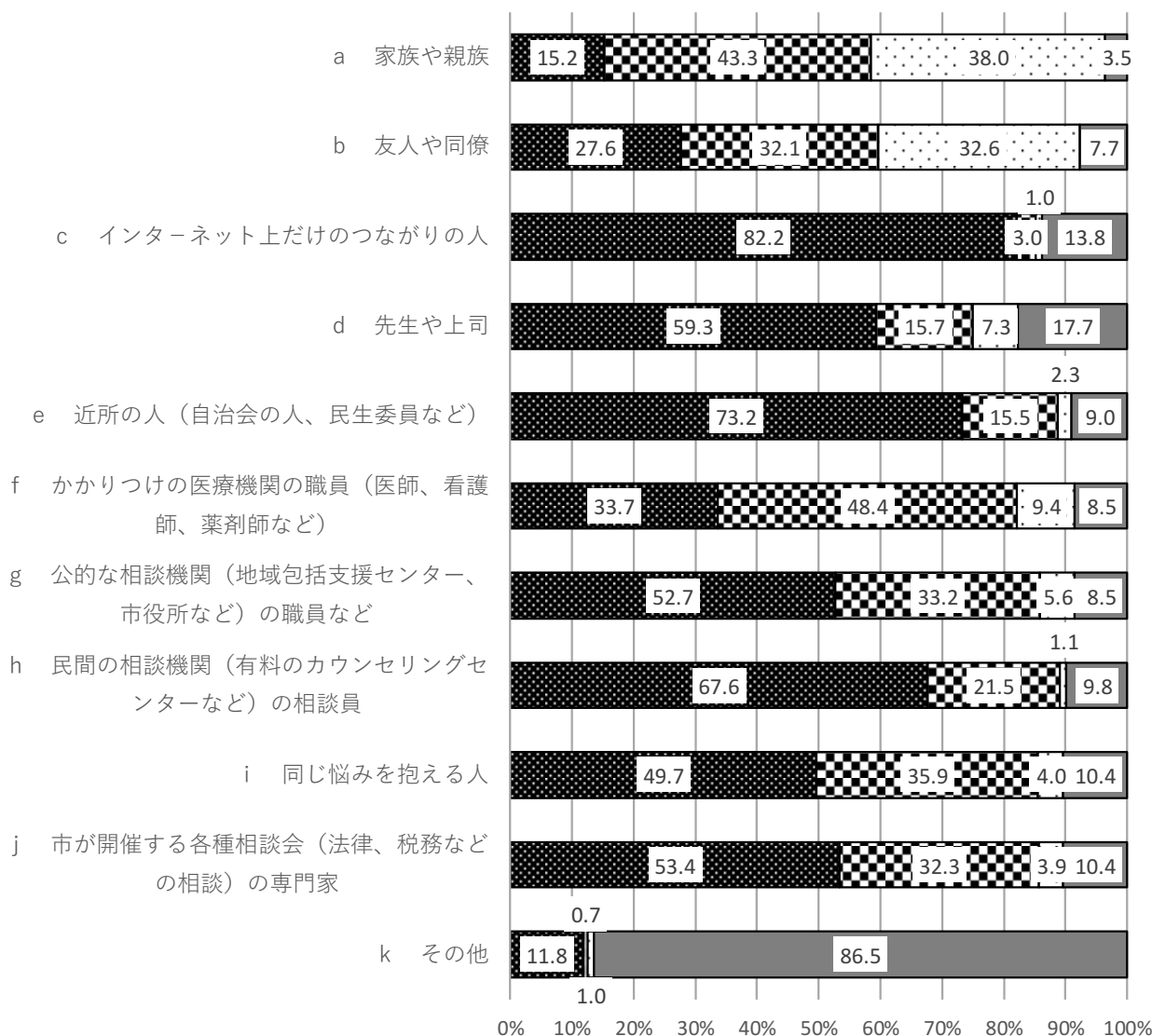
	回答者数	助けを求めたり、誰かに相談したいと思う	誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う	悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う	誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う	悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う	無回答
全体	820	55.7%	9.3%	23.8%	4.9%	8.8%	29.3%
男性-10・20歳代	16	43.8%	6.3%	31.3%	0.0%	12.5%	12.5%
男性-30歳代	22	63.6%	9.1%	40.9%	13.6%	4.5%	22.7%
男性-40歳代	39	53.8%	12.8%	35.9%	7.7%	10.3%	28.2%
男性-50歳代	49	49.0%	16.3%	32.7%	8.2%	8.2%	30.6%
男性-60歳代	86	41.9%	8.1%	24.4%	5.8%	9.3%	37.2%
男性-70歳代	87	47.1%	14.9%	26.4%	4.6%	16.1%	32.2%
男性-80歳以上	36	41.7%	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	27.8%
女性-10・20歳代	27	55.6%	14.8%	48.1%	11.1%	18.5%	14.8%
女性-30歳代	42	73.8%	7.1%	23.8%	0.0%	7.1%	14.3%
女性-40歳代	67	76.1%	7.5%	19.4%	1.5%	9.0%	16.4%
女性-50歳代	71	67.6%	9.9%	23.9%	1.4%	4.2%	21.1%
女性-60歳代	111	68.5%	0.9%	14.4%	1.8%	4.5%	25.2%
女性-70歳代	113	49.6%	11.5%	22.1%	8.0%	8.8%	37.2%
女性-80歳以上	40	42.5%	2.5%	7.5%	5.0%	2.5%	57.5%

**問 17 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の人々に相談すると思いますか。（それぞれに○は1つ）**

- 「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答は、“a 家族や親族”が81.3%と比較的高く、“b 友人や同僚”が64.7%、“f かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）”が57.8%、“i 同じ悩みを抱える人”が39.9%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答は、いずれの性別・年齢も“a 家族や親族”、“b 友人や同僚”、“f かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）”が比較的高くなっています。
- “e 近所の人（自治会の人、民生委員など）”は、上の年齢ほど「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答が高く、“c インターネット上だけのつながりの人”は、若い年齢ほど「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答が高くなっています。

<回答者数820>

■ 相談しないと思う   ■ 実際にしたことはないが、相談すると思う   □ 相談したことがある   ■ 無回答



【性別・年齢別】（「実際にしたことはないが、相談すると思う」と「相談したことがある」を合わせた回答率※）

※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

	回答者数	家族や親族	友人や同僚	インターネット上だけのつながりの人	先生や上司	近所の人（自治会の人、民生委員など）	師、薬剤師など	かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）	役所など）の職員など	包括支援センター、地域公的な相談機関（地域包括支援センター、市民間の相談機関（有料のカウンセリングセンターなど）の相談員	同じ悩みを抱える人	市が主催する各種相談（法律、税務などの専門家）の専門家	その他	無回答
全体	820	81.2%	64.8%	5.0%	23.0%	17.8%	57.8%	38.8%	22.6%	39.9%	36.2%	0.0%	6.6%	
男性-10・20歳代	16	81.3%	81.3%	12.5%	56.3%	0.0%	56.3%	31.3%	31.3%	56.3%	25.0%	0.0%	0.0%	
男性-30歳代	22	81.8%	77.3%	22.7%	27.3%	4.5%	54.5%	27.3%	22.7%	45.5%	36.4%	0.0%	9.1%	
男性-40歳代	39	84.6%	74.4%	7.7%	46.2%	12.8%	33.3%	38.5%	30.8%	46.2%	41.0%	0.0%	10.3%	
男性-50歳代	49	73.5%	53.1%	4.1%	32.7%	6.1%	69.4%	34.7%	24.5%	34.7%	38.8%	0.0%	2.0%	
男性-60歳代	86	80.2%	53.5%	2.3%	22.1%	27.9%	65.1%	48.8%	26.7%	31.4%	53.5%	0.0%	9.3%	
男性-70歳代	87	83.9%	57.5%	4.6%	13.8%	23.0%	60.9%	39.1%	21.8%	34.5%	37.9%	0.0%	8.0%	
男性-80歳以上	36	75.0%	36.1%	0.0%	11.1%	27.8%	55.6%	44.4%	13.9%	22.2%	27.8%	0.0%	8.3%	
女性-10・20歳代	27	70.4%	70.4%	18.5%	37.0%	3.7%	33.3%	22.2%	18.5%	40.7%	7.4%	0.0%	11.1%	
女性-30歳代	42	88.1%	92.9%	9.5%	42.9%	4.8%	47.6%	35.7%	23.8%	52.4%	31.0%	0.0%	0.0%	
女性-40歳代	67	88.1%	82.1%	9.0%	38.8%	16.4%	56.7%	37.3%	22.4%	41.8%	34.3%	0.0%	0.0%	
女性-50歳代	71	74.6%	76.1%	7.0%	31.0%	14.1%	62.0%	31.0%	21.1%	56.3%	32.4%	0.0%	1.4%	
女性-60歳代	111	88.3%	75.7%	1.8%	16.2%	21.6%	65.8%	50.5%	27.9%	45.0%	46.8%	0.0%	3.6%	
女性-70歳代	113	82.3%	61.9%	0.0%	5.3%	24.8%	59.3%	38.9%	18.6%	38.9%	33.6%	0.0%	8.0%	
女性-80歳以上	40	70.0%	32.5%	2.5%	10.0%	15.0%	50.0%	30.0%	17.5%	27.5%	15.0%	0.0%	20.0%	

【問 17 その他の具体的な記述（主なもの）】

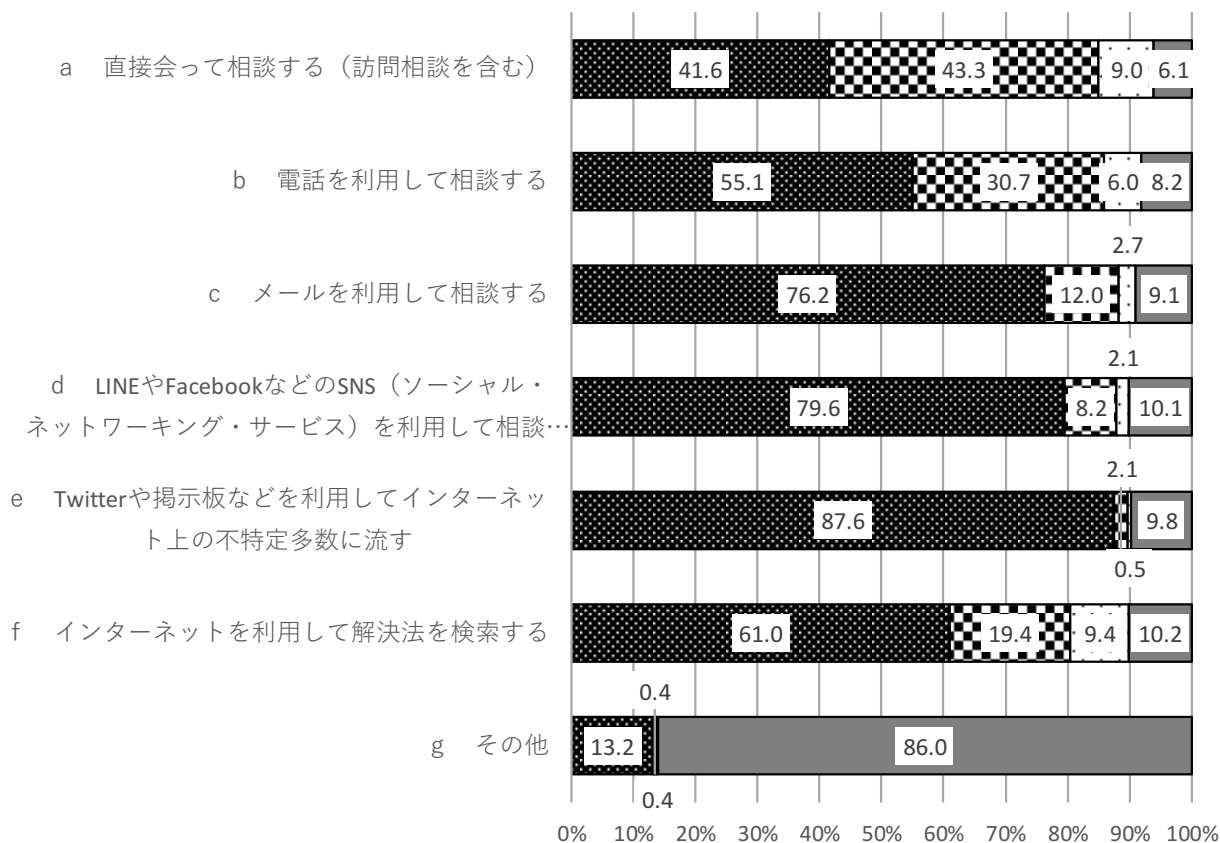
- 自分が行動を共にしているボランティアの仲間
- 他の同企業の同年代の相談会
- 教会の牧師

**問 18 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の方法を使って悩みを相談したいと思いますか。（それぞれに○は1つ）**

- 「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答は、“a 直接会って相談する（訪問相談を含む）”が52.3%と比較的高く、“b 電話を利用して相談する”が36.7%、“f インターネットを利用して解決法を検索する”が28.8%、“c メールを利用して相談する”が14.6%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「実際にしたことはないが、相談すると思う」又は「相談したことがある」との回答は、若い年齢ほど“d LINEやFacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して相談する”、“f インターネットを利用して解決法を検索する”が比較的高くなっています。

<回答者数820>

■ 利用しないと思う ■ 実際にしたことはないが、利用すると思う □ 利用したことがある ■ 無回答



【性別・年齢別】（「実際にしたことはないが、利用すると思う」と「利用したことがある」を合わせた回答率※）

※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

	回答者数	直接会って 相談する （訪問相談 を含む）	電話を利用 して相談す る	メールを利 用して相談 する	LINEや Facebookな どのSNS （ソーシャ ル・ネット ワーキン グ・サービ ス）を利用 して相談す る	Twitterや掲 示板などを 利用してイ ンターネッ ト上の不特 定多数に流 す	インター ネットを利 用して解決 法を検索す る	その他	無回答
全体	820	52.3%	36.7%	14.6%	10.2%	2.6%	28.8%	0.7%	33.0%
男性-10・20歳代	16	50.0%	31.3%	31.3%	31.3%	18.8%	68.8%	6.3%	18.8%
男性-30歳代	22	50.0%	45.5%	36.4%	40.9%	9.1%	59.1%	4.5%	22.7%
男性-40歳代	39	59.0%	61.5%	17.9%	15.4%	12.8%	53.8%	0.0%	23.1%
男性-50歳代	49	55.1%	36.7%	22.4%	10.2%	0.0%	38.8%	0.0%	36.7%
男性-60歳代	86	55.8%	38.4%	7.0%	3.5%	0.0%	24.4%	0.0%	29.1%
男性-70歳代	87	48.3%	31.0%	5.7%	3.4%	2.3%	17.2%	0.0%	42.5%
男性-80歳以上	36	58.3%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	30.6%
女性-10・20歳代	27	37.0%	40.7%	40.7%	37.0%	11.1%	59.3%	0.0%	22.2%
女性-30歳代	42	54.8%	45.2%	31.0%	26.2%	7.1%	50.0%	2.4%	23.8%
女性-40歳代	67	59.7%	49.3%	29.9%	19.4%	0.0%	62.7%	0.0%	16.4%
女性-50歳代	71	56.3%	46.5%	28.2%	15.5%	1.4%	38.0%	0.0%	23.9%
女性-60歳代	111	63.1%	36.9%	6.3%	3.6%	0.0%	19.8%	0.0%	27.0%
女性-70歳代	113	40.7%	28.3%	6.2%	3.5%	1.8%	5.3%	0.0%	51.3%
女性-80歳以上	40	37.5%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	55.0%

【問18 その他の具体的な記述（主なもの）】

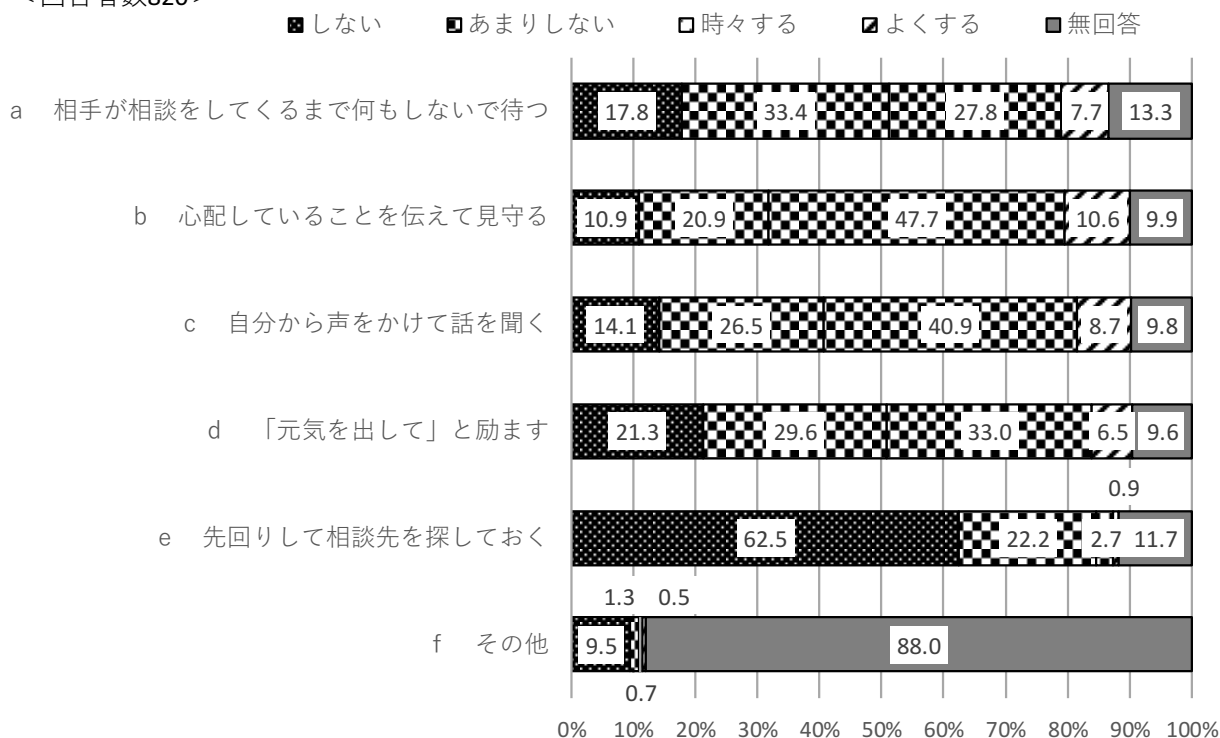
- 占い
- 手紙などの投稿
- 本・雑誌

## IV 相談を受けることについておたずねします

問 19 理由は分からないけれども、身近な人がいつもと違った様子で辛そうに見えた時に、あなたがどうするかについてお聞きします。(それぞれに○は1つ)

- 「時々する」又は「よくする」との回答は、“b 心配していることを伝えて見守る”が58.4%と比較的高く、“c 自分から声をかけて話を聞く”が49.6%、“d 「元気を出して」と励ます”が39.4%、“a 相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ”が35.5%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、「時々する」又は「よくする」との回答は、男女ともに若い年齢ほど“c 自分から声をかけて話を聞く”が比較的高くなっています。

<回答者数820>





【性別・年齢別】（「時々する」と「よくする」を合わせた回答率※）

※小数点の四捨五入の関係で、前頁のグラフの値と合わない場合があります。

	回答者数	相手が相談 をしてくる まで何もし ないで待つ	心配してい ることを伝 えて見守る	自分から声 をかけて話 を聞く	「元気を出 して」と励 ます	先回りして 相談先を探 しておく	その他	無回答
全体	820	35.5%	58.4%	49.6%	39.4%	3.5%	1.2%	24.4%
男性-10・20歳代	16	37.5%	62.5%	68.8%	56.3%	0.0%	6.3%	6.3%
男性-30歳代	22	68.2%	50.0%	50.0%	31.8%	9.1%	4.5%	13.6%
男性-40歳代	39	33.3%	56.4%	56.4%	30.8%	7.7%	0.0%	23.1%
男性-50歳代	49	38.8%	57.1%	53.1%	30.6%	0.0%	0.0%	18.4%
男性-60歳代	86	31.4%	59.3%	51.2%	47.7%	3.5%	1.2%	24.4%
男性-70歳代	87	20.7%	35.6%	37.9%	37.9%	4.6%	1.1%	46.0%
男性-80歳以上	36	5.6%	33.3%	36.1%	41.7%	2.8%	0.0%	47.2%
女性-10・20歳代	27	44.4%	63.0%	59.3%	25.9%	7.4%	3.7%	14.8%
女性-30歳代	42	54.8%	88.1%	66.7%	31.0%	11.9%	0.0%	4.8%
女性-40歳代	67	61.2%	82.1%	70.1%	34.3%	4.5%	3.0%	7.5%
女性-50歳代	71	52.1%	78.9%	49.3%	32.4%	0.0%	0.0%	9.9%
女性-60歳代	111	33.3%	55.0%	45.9%	40.5%	1.8%	0.0%	29.7%
女性-70歳代	113	29.2%	59.3%	46.0%	54.0%	2.7%	0.9%	23.9%
女性-80歳以上	40	7.5%	32.5%	35.0%	35.0%	2.5%	5.0%	45.0%

【問 19 その他の具体的な記述（主なもの）】

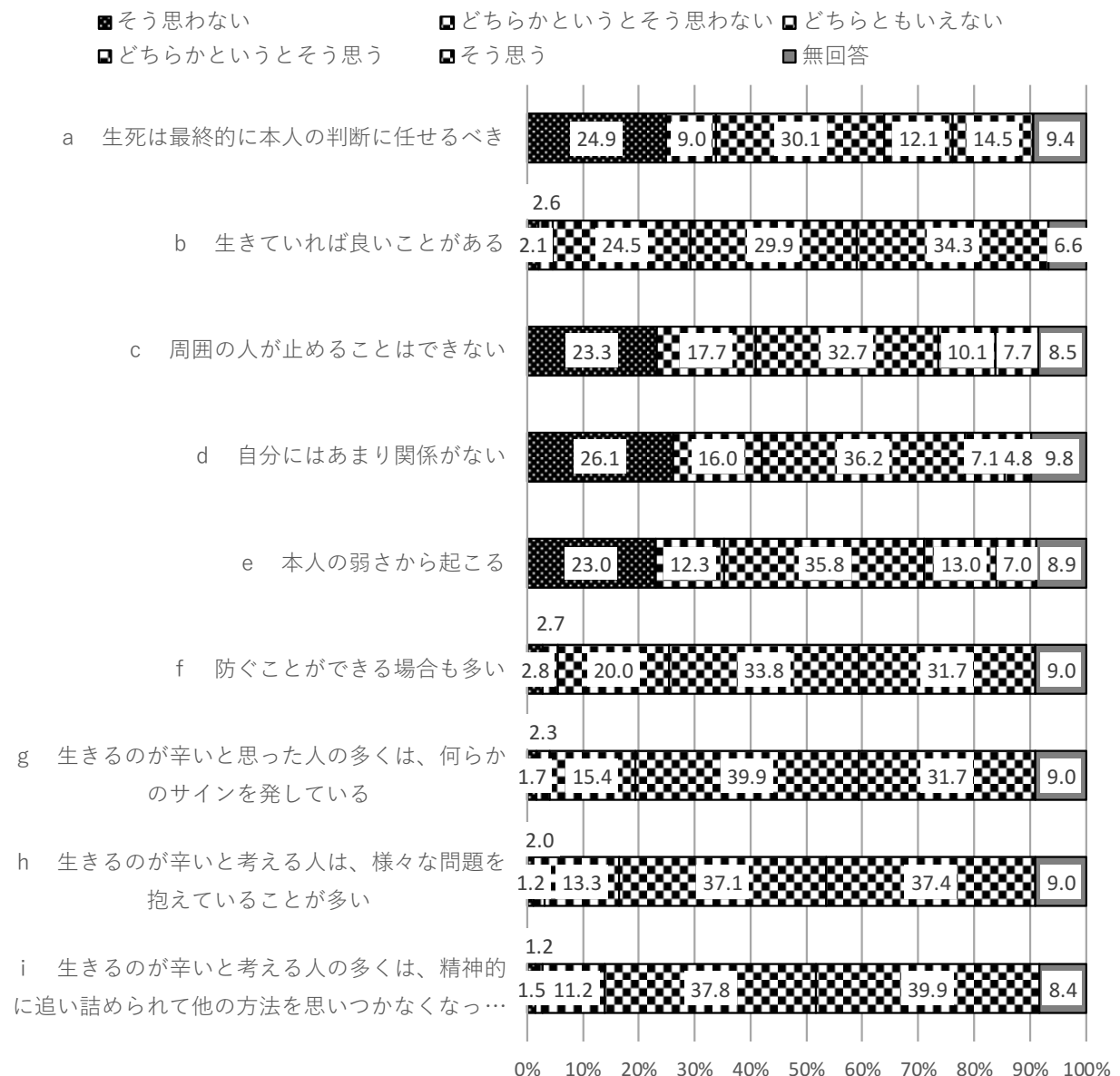
- 顔や様子をみるために電話等さりげなくする
- いらぬおせっかいと言われたくない
- 遊びに行く
- 飲み物を出す（気分転換）
- おいしいもの、楽しいものをプレゼントする

## V 生きていることが辛いと思っている人に対し、あなたはどうしますか

問 20 あなたは、辛いことが高く限界を感じ生死を考えている人に対して、どのように思いますか。（それぞれに○は1つ）その他に思うことがあれば、「その他」の欄にご記入ください。

- 「どちらかというと思う」又は「そう思う」との回答は、“i 生きているのが辛いと考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている”が77.7%と比較的高く、“h 生きているのが辛いと考える人は、様々な問題を抱えていることが多い”が74.5%、“g 生きているのが辛いと思った人の多くは、何らかのサインを発している”が71.6%、「防ぐことができる場合も多い」が65.5%と続いています。

<回答者数820>

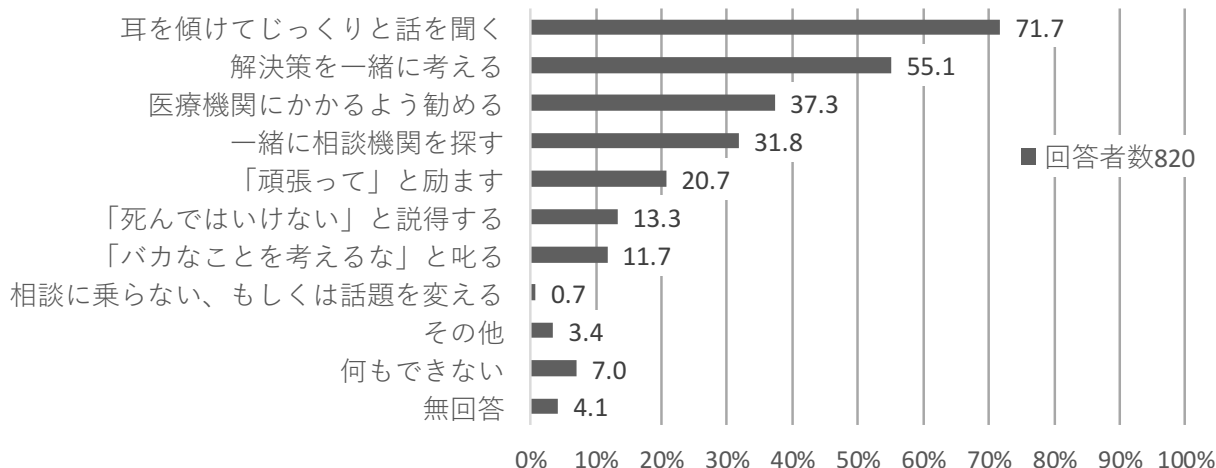


### 【その他欄の主な意見】

- 本人の状況を十分に確認し説得と同時に励ましてあげる
- 若輩者は辛いことが高く限界を感じやすい。(コミュニティが限定的、許容が少ない)
- 思い詰めるだけ思い詰めて自ら死を選ぶ人ばかりではないと思う。辛いなあぐらいの気持ちのとき、ふと思いつきで死んでしまう人もいる。
- 本当は死にたいのではない、現状の苦しみから楽になりたい
- 生きてさえいれば…。とも思うけど、死を選択した人は、脳の伝達物質によるものだとしても、生きていることが苦痛で死を選ぶしか解放する方法がないと思って行動に移している人もいると思う。その人にとっての解放になるのであるなら認める訳ではないが、苦しかったんだね。辛いんだね。という気持ちもある。でもどんな人だって、自死は悲しい。防げるものでもあると思う

**問 21 もし身近な人から「悩んでいる」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。(○はいくつでも)**

- 「耳を傾けてじっくりと話を聞く」が71.7%と最も高く、次いで「解決策を一緒に考える」が55.1%、「医療機関にかかるよう勧める」が37.3%、「一緒に相談機関を探す」が31.8%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、いずれの性別・年齢も「耳を傾けてじっくりと話を聞く」が比較的高く、女性の10・20歳代は「解決策を一緒に考える」も比較的高くなっています。
- 「「頑張って」と励ます」との回答は、上の年齢ほど高い傾向が見られます。



**【性別・年齢別】**

	回答者数	相談に乗らない、もしくは	「頑張って」と励ます	「死んではいけない」と説得する	「バカなことを考えるな」と叱る	耳を傾けてじっくりと話を聞く	医療機関にかかるよう勧める	解決策を一緒に考える	一緒に相談機関を探す	その他	何もできない	無回答
全体	820	0.7%	20.7%	13.3%	11.7%	71.7%	37.3%	55.1%	31.8%	3.4%	7.0%	4.1%
男性-10・20歳代	16	6.3%	18.8%	0.0%	0.0%	87.5%	25.0%	68.8%	18.8%	6.3%	6.3%	0.0%
男性-30歳代	22	4.5%	9.1%	18.2%	9.1%	77.3%	27.3%	63.6%	31.8%	4.5%	13.6%	0.0%
男性-40歳代	39	0.0%	7.7%	7.7%	10.3%	79.5%	28.2%	64.1%	20.5%	2.6%	5.1%	2.6%
男性-50歳代	49	0.0%	10.2%	8.2%	10.2%	63.3%	46.9%	61.2%	32.7%	0.0%	8.2%	0.0%
男性-60歳代	86	3.5%	23.3%	7.0%	15.1%	69.8%	33.7%	52.3%	26.7%	2.3%	8.1%	3.5%
男性-70歳代	87	1.1%	32.2%	16.1%	18.4%	60.9%	44.8%	43.7%	26.4%	2.3%	6.9%	4.6%
男性-80歳以上	36	0.0%	52.8%	30.6%	25.0%	55.6%	38.9%	38.9%	19.4%	8.3%	11.1%	5.6%
女性-10・20歳代	27	0.0%	7.4%	14.8%	0.0%	81.5%	11.1%	81.5%	33.3%	0.0%	0.0%	7.4%
女性-30歳代	42	0.0%	9.5%	19.0%	2.4%	85.7%	35.7%	81.0%	42.9%	4.8%	2.4%	2.4%
女性-40歳代	67	0.0%	9.0%	6.0%	9.0%	86.6%	47.8%	65.7%	47.8%	3.0%	4.5%	1.5%
女性-50歳代	71	0.0%	7.0%	7.0%	2.8%	87.3%	36.6%	67.6%	39.4%	2.8%	11.3%	2.8%
女性-60歳代	111	0.0%	16.2%	10.8%	6.3%	74.8%	39.6%	52.3%	41.4%	5.4%	3.6%	1.8%
女性-70歳代	113	0.0%	29.2%	20.4%	20.4%	67.3%	36.3%	44.2%	26.5%	2.7%	5.3%	8.0%
女性-80歳以上	40	0.0%	37.5%	17.5%	15.0%	47.5%	37.5%	37.5%	20.0%	7.5%	15.0%	12.5%

【問 21 その他の具体的な記述（主なもの）】

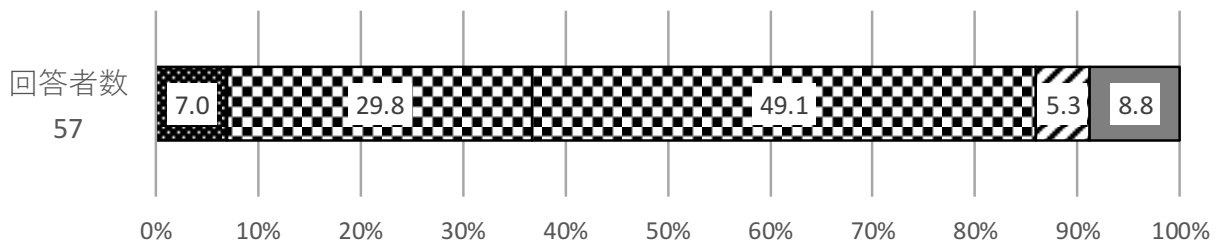
- 自分の体験談を話す
- 家族、親族に連絡、相談する
- 様子を見ながら民生委員の人に知らせる
- 一緒に相談や病院につきそう
- 「休んじゃえ」と勧める

問 21 で「10 何もできない」と回答された方にお聞きます。

問 21-1 何もできない理由は何ですか。（○は 1 つ）

- 「相談を受けても、適切な助言ができる知識や情報を把握していないから」が 49.1%と最も高く、次いで「相談を受けても、声のかけ方や接し方などの対応に自信がないから」が 29.8%、「身近な人が対応するのではなく、専門的機関が行うべきことだと思うから」が 7.0%、「その他」が 5.3%と続いています。

- 身近な人が対応するのではなく、専門的機関が行うべきことだと思うから
- 相談を受けても、声のかけ方や接し方などの対応に自信がないから
- 相談を受けても、適切な助言ができる知識や情報を把握していないから
- その他
- 無回答



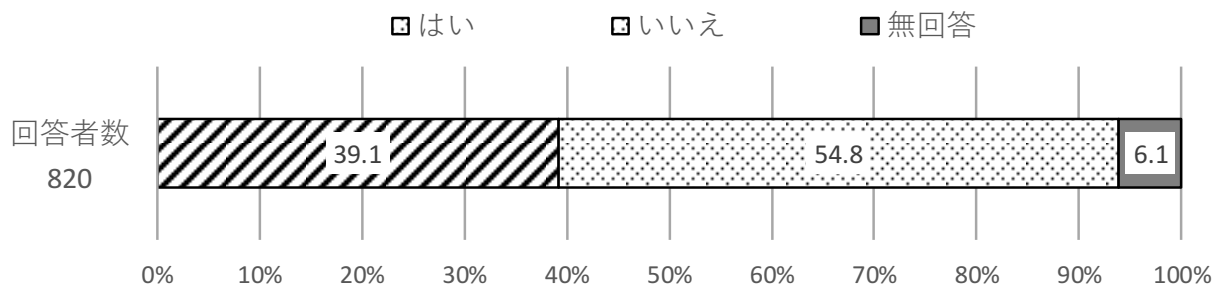
【問 21-1 その他の具体的な記述（主なもの）】

- 誰かに何かしてほしいとすれば、その人は答えを持っていると思うから、自分で持っている答えを聞くまでは本当の意味で何もできない
- その時のケースによって対応が異なるから

## VI 生きることを支える啓発活動についておたずねします

問 22 あなたはこれまで、自殺予防週間やこころの健康に関する啓発物（案内・広告等）を見たことがありますか。（○は1つ）

- 「いいえ」が54.8%、「はい」が39.1%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の10・20歳代、30歳代、60歳代、女性の30歳代、50歳代は「はい」が半数以上となっています。



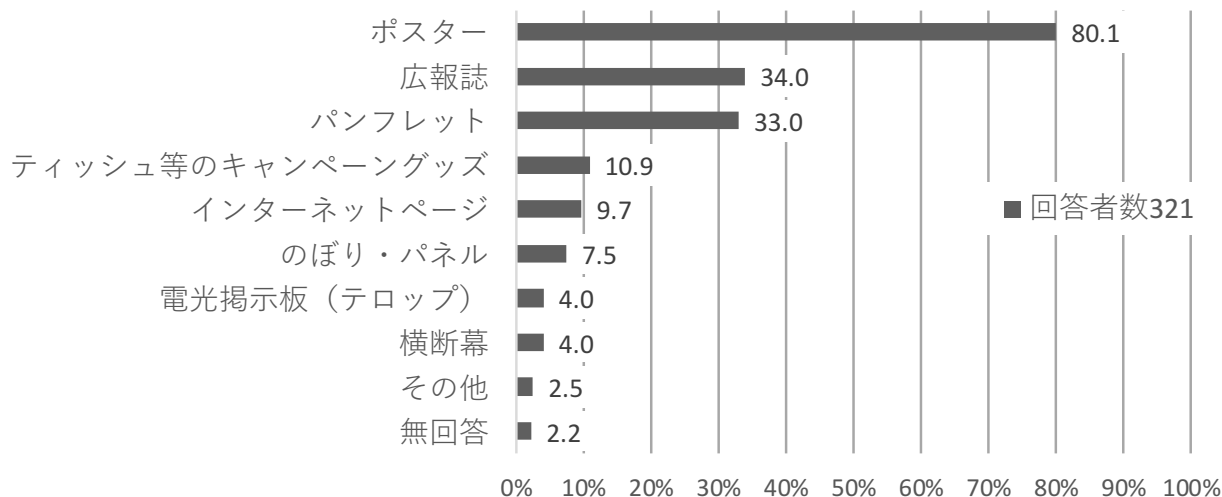
【性別・年齢別】

	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	820	39.1%	54.8%	6.1%
男性-10・20歳代	16	50.0%	50.0%	0.0%
男性-30歳代	22	50.0%	50.0%	0.0%
男性-40歳代	39	35.9%	64.1%	0.0%
男性-50歳代	49	30.6%	69.4%	0.0%
男性-60歳代	86	50.0%	44.2%	5.8%
男性-70歳代	87	40.2%	55.2%	4.6%
男性-80歳以上	36	30.6%	55.6%	13.9%
女性-10・20歳代	27	37.0%	55.6%	7.4%
女性-30歳代	42	50.0%	50.0%	0.0%
女性-40歳代	67	44.8%	52.2%	3.0%
女性-50歳代	71	52.1%	43.7%	4.2%
女性-60歳代	111	45.9%	53.2%	0.9%
女性-70歳代	113	24.8%	61.1%	14.2%
女性-80歳以上	40	12.5%	65.0%	22.5%

問 22 で「1 はい」と回答された方は、問 22- 1 ～問 22- 3 にお答えください。

**問 22- 1 あなたがこれまでに見たことがある啓発物は何ですか。（〇はいくつでも）**

- 「ポスター」が 80.1%と最も高く、次いで「広報誌」が 34.0%、「パンフレット」が 33.0%、「ティッシュ等のキャンペーングッズ」が 10.9%と続いています。

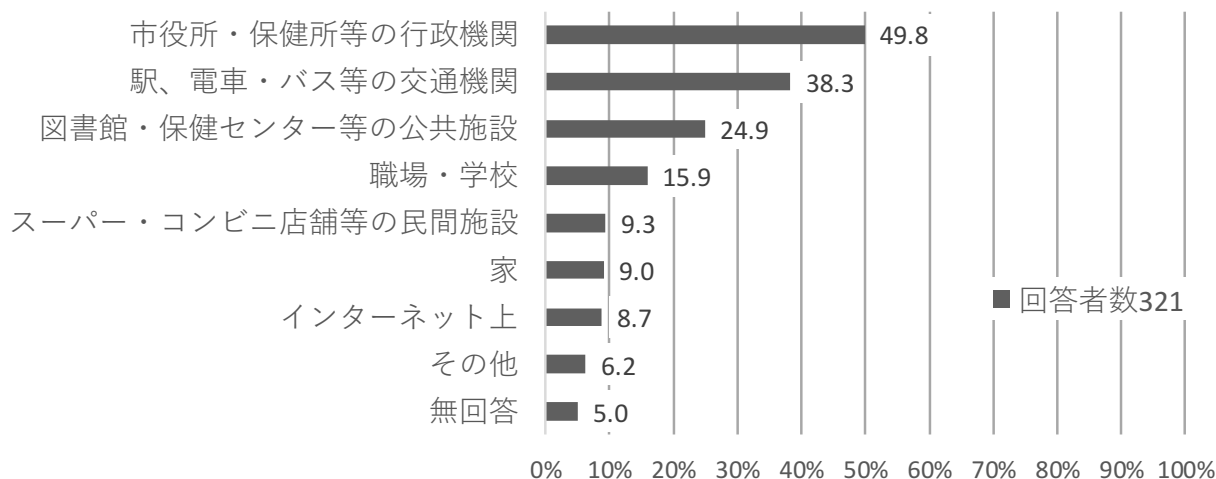


【問 22-1 その他の具体的な記述 (主なもの)】

- 新聞
- 会社の資料
- 行政機関

**問 22- 2 その啓発物は、どこで見ましたか。（〇はいくつでも）**

- 「市役所・保健所等の行政機関」が 49.8%と最も高く、次いで「駅、電車・バス等の交通機関」が 38.3%、「図書館・保健センター等の公共施設」が 24.9%、「職場・学校」が 15.9%と続いています。

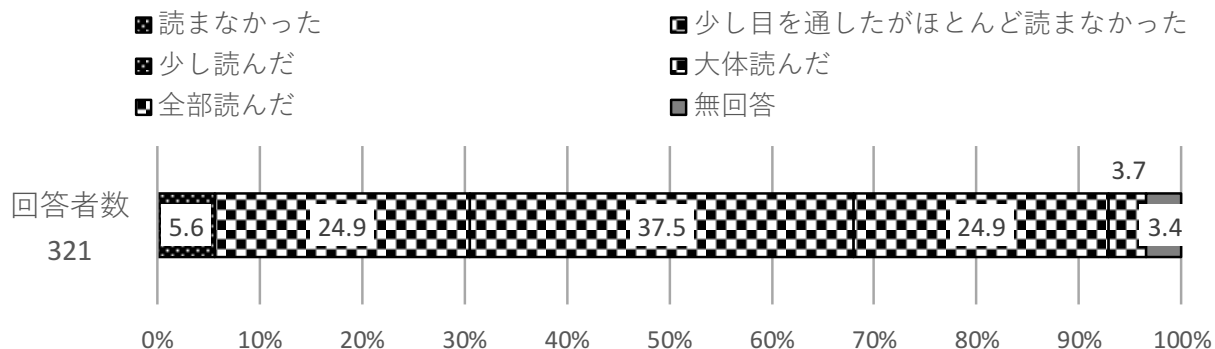


【問 22-2 その他の具体的な記述 (主なもの)】

- 医療機関
- 警察所
- 駅で配布していた
- 薬局
- 覚えていない

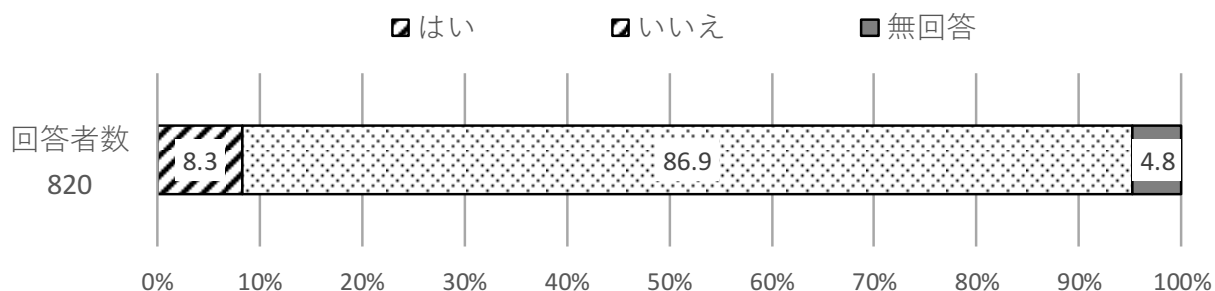
**問 22-3 その啓発物を見たとき、あなたはどうしましたか。(○は1つ)**

- 「少し読んだ」が37.5%と最も高く、次いで「少し目を通したがほとんど読まなかった」が24.9%、「大体読んだ」が24.9%、「読まなかった」が5.6%と続いています。



**問 23 生きることを支えることに関する講演会や講習会に参加したことがありますか。(○は1つ)**

- 「いいえ」が86.9%、「はい」が8.3%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の80歳以上、女性の10・20歳代、60歳代、70歳代は「はい」が10%以上となっています。



**【性別・年齢別】**

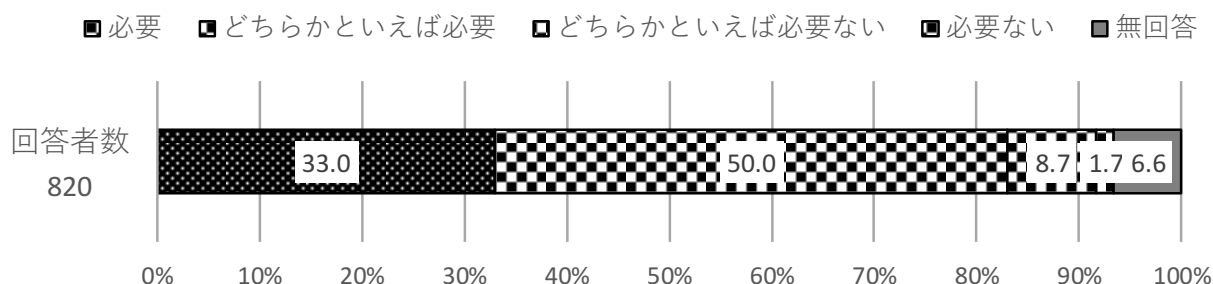
	回答者数	はい	いいえ	無回答
全体	820	8.3%	86.9%	4.8%
男性-10・20歳代	16	6.3%	93.7%	0.0%
男性-30歳代	22	0.0%	100.0%	0.0%
男性-40歳代	39	2.6%	97.4%	0.0%
男性-50歳代	49	6.1%	91.9%	2.0%
男性-60歳代	86	7.0%	91.8%	1.2%
男性-70歳代	87	9.2%	86.2%	4.6%
男性-80歳以上	36	16.7%	77.7%	5.6%
女性-10・20歳代	27	11.1%	85.2%	3.7%
女性-30歳代	42	0.0%	97.6%	2.4%
女性-40歳代	67	6.0%	89.5%	4.5%
女性-50歳代	71	8.5%	88.7%	2.8%
女性-60歳代	111	14.4%	80.2%	5.4%
女性-70歳代	113	10.6%	83.2%	6.2%
女性-80歳以上	40	5.0%	80.0%	15.0%



## 問 24 生きることを支えるための PR 活動（啓発物や講演会など）についてどのように思いますか。

（○は1つ）

- 「どちらかといえば必要」が50.0%と最も高く、次いで「必要」が33.0%、「どちらかといえば必要ない」が8.7%、「必要ない」が1.7%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、いずれの性別・年齢も「どちらかといえば必要」が最も高く、男女ともに10・20歳代は「どちらかといえば必要ない」、「必要ない」が比較的高くなっています。

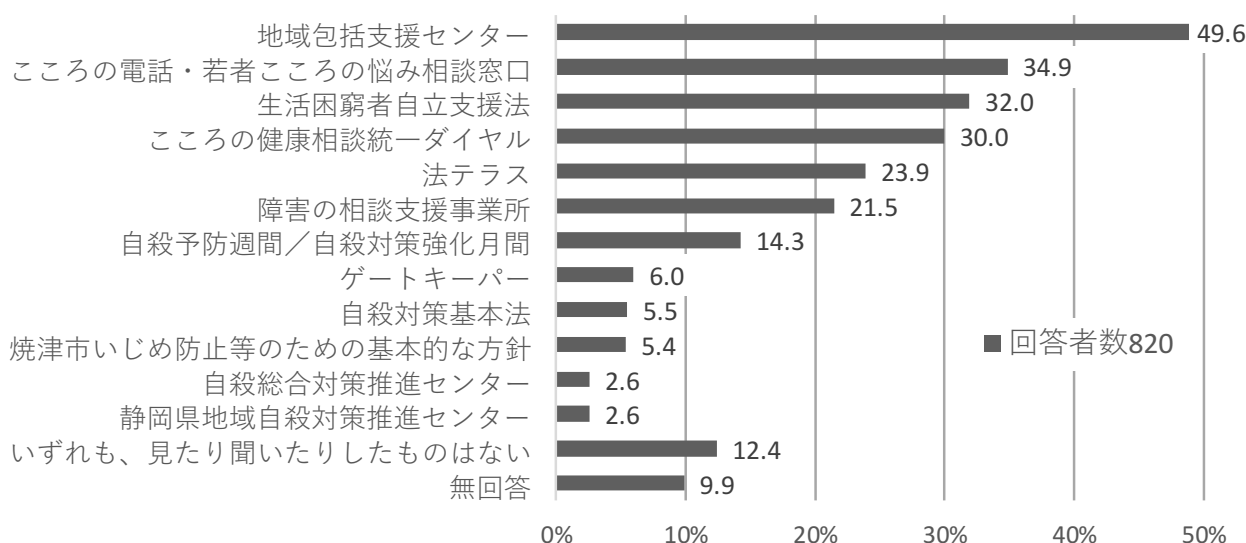


### 【性別・年齢別】

	回答者数	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば必要ない	必要ない	無回答
全体	820	33.0%	50.0%	8.7%	1.7%	6.6%
男性-10・20歳代	16	18.8%	49.9%	18.8%	12.5%	0.0%
男性-30歳代	22	31.8%	54.6%	9.1%	0.0%	4.5%
男性-40歳代	39	20.5%	66.6%	10.3%	2.6%	0.0%
男性-50歳代	49	38.8%	49.0%	10.2%	0.0%	2.0%
男性-60歳代	86	33.7%	46.4%	10.5%	4.7%	4.7%
男性-70歳代	87	34.5%	44.9%	8.0%	4.6%	8.0%
男性-80歳以上	36	36.1%	47.2%	5.6%	2.8%	8.3%
女性-10・20歳代	27	37.0%	40.8%	18.5%	3.7%	0.0%
女性-30歳代	42	28.6%	59.5%	7.1%	0.0%	4.8%
女性-40歳代	67	32.8%	59.7%	4.5%	1.5%	1.5%
女性-50歳代	71	35.2%	53.5%	9.9%	0.0%	1.4%
女性-60歳代	111	42.3%	46.0%	7.2%	0.0%	4.5%
女性-70歳代	113	31.0%	47.7%	7.1%	0.0%	14.2%
女性-80歳以上	40	25.0%	47.5%	7.5%	0.0%	20.0%

問 25 あなたは、次の法律や言葉、窓口等を知っていますか。(〇はいくつでも)

- 「地域包括支援センター」が49.6%と最も高く、次いで「こころの電話・若者こころの悩み相談窓口」が34.9%、「生活困窮者自立支援法」が32.0%、「こころの健康相談統一ダイヤル」が30.0%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男女ともに10・20歳代、30歳代は「こころの電話・若者こころの悩み相談窓口」が比較的高く、男性の30歳代、40歳代は「法テラス」が比較的高くなっています。
- 上の年齢ほど「地域包括支援センター」が高くなっており、男性の30歳代、男女の40歳代は「ゲートキーパー」が比較的高くなっています。

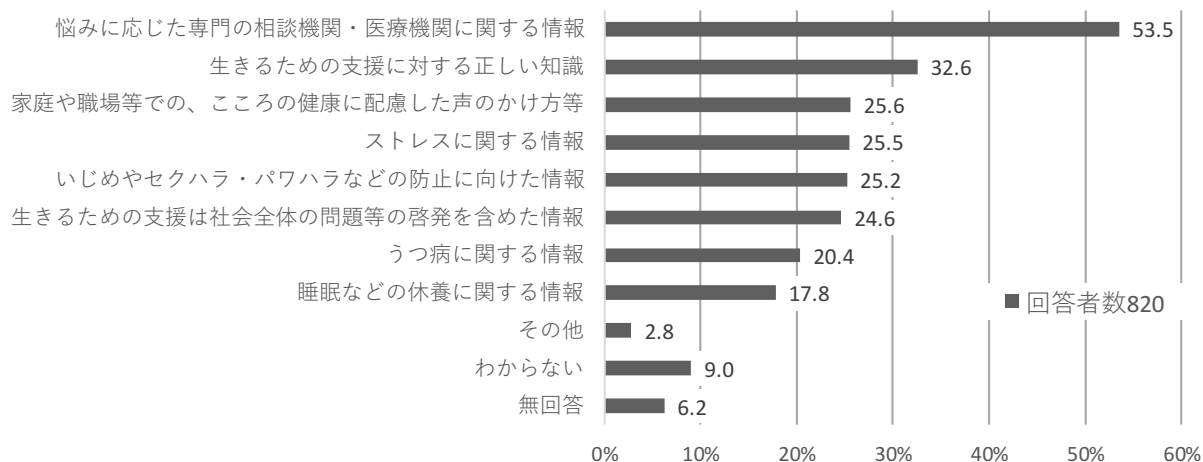


【性別・年齢別】

	回答者数	生活困窮者自立支援法	ゲートキーパー	こころの健康相談統一ダイヤル	こころの悩み相談窓口	こころの電話・若者こころの悩み相談窓口	法テラス	地域包括支援センター	障害の相談支援事業所	自殺対策基本法	自殺総合対策推進センター	静岡県地域自殺対策推進センター	自殺予防週間／自殺対策強化月間	焼津市いじめ防止等のための基本的な方針	いずれも、見たり聞いたりしたものはない	無回答
全体	820	32.0%	6.0%	30.0%	34.9%	23.9%	49.6%	21.5%	5.5%	2.6%	2.6%	14.3%	5.4%	12.4%	9.9%	
男性-10・20歳代	16	37.5%	6.3%	25.0%	43.8%	31.3%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
男性-30歳代	22	31.8%	36.4%	27.3%	45.5%	45.5%	31.8%	18.2%	18.2%	13.6%	13.6%	31.8%	4.5%	18.2%	4.5%	
男性-40歳代	39	33.3%	12.8%	25.6%	23.1%	38.5%	25.6%	12.8%	5.1%	0.0%	2.6%	17.9%	10.3%	17.9%	7.7%	
男性-50歳代	49	26.5%	4.1%	30.6%	32.7%	22.4%	34.7%	18.4%	4.1%	0.0%	2.0%	12.2%	2.0%	12.2%	10.2%	
男性-60歳代	86	34.9%	5.8%	32.6%	34.9%	20.9%	53.5%	22.1%	11.6%	4.7%	2.3%	15.1%	3.5%	12.8%	7.0%	
男性-70歳代	87	36.8%	2.3%	23.0%	16.1%	17.2%	46.0%	25.3%	3.4%	3.4%	2.3%	10.3%	5.7%	20.7%	13.8%	
男性-80歳以上	36	38.9%	0.0%	27.8%	22.2%	13.9%	58.3%	25.0%	2.8%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	11.1%	19.4%	
女性-10・20歳代	27	14.8%	3.7%	37.0%	40.7%	25.9%	25.9%	11.1%	3.7%	7.4%	11.1%	14.8%	7.4%	18.5%	11.1%	
女性-30歳代	42	16.7%	9.5%	33.3%	47.6%	33.3%	42.9%	14.3%	7.1%	2.4%	2.4%	19.0%	9.5%	9.5%	4.8%	
女性-40歳代	67	22.4%	10.4%	28.4%	47.8%	38.8%	49.3%	16.4%	7.5%	1.5%	1.5%	22.4%	6.0%	7.5%	4.5%	
女性-50歳代	71	28.2%	8.5%	40.8%	52.1%	36.6%	62.0%	14.1%	8.5%	4.2%	1.4%	18.3%	4.2%	11.3%	2.8%	
女性-60歳代	111	43.2%	6.3%	36.9%	45.9%	27.9%	64.9%	31.5%	4.5%	0.9%	0.9%	18.0%	7.2%	6.3%	0.9%	
女性-70歳代	113	34.5%	0.9%	26.5%	30.1%	7.1%	61.1%	29.2%	0.9%	0.9%	1.8%	7.1%	5.3%	9.7%	16.8%	
女性-80歳以上	40	20.0%	0.0%	17.5%	15.0%	5.0%	37.5%	7.5%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	17.5%	30.0%	

**問 26 あなたは、生きるための支援について、市役所がどのような情報を市民に知らせていくことが必要だと思いますか。（○は3つまで）**

- 「悩みに応じた専門の相談機関・医療機関に関する情報」が53.5%と最も高く、次いで「生きるための支援に対する正しい知識」が32.6%、「家庭や職場等での、こころの健康に配慮した声のかけ方等」が25.6%、「ストレスに関する情報」が25.5%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の10・20歳代と50歳代は「生きるための支援に対する正しい知識」が比較的高く、男性の30歳代は「いじめやセクハラ・パワハラなどの防止に向けた情報」が63.6%と比較的高くなっています。
- 男女ともに80歳以上は、「生きるための支援は社会全体の問題等の啓発を含めた情報」が比較的高くなっています。



**【性別・年齢別】**

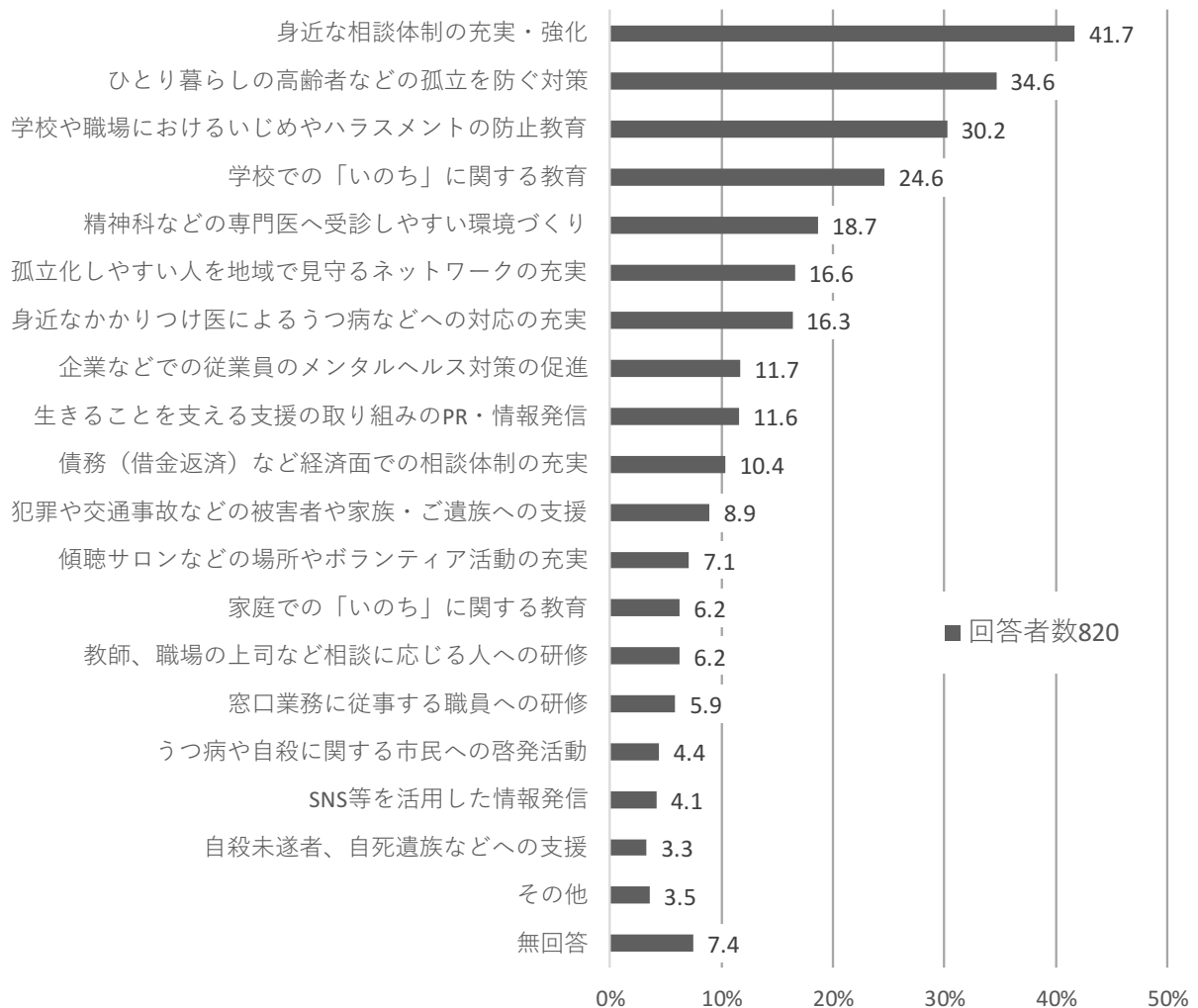
	回答者数	全体的啓発を含めた情報	生きるための正しい知識	うつ病に関する情報	機関・医療機関に関する情報	悩みに応じた専門の相談機関に関する情報	家庭や職場等でのこころの健康に配慮した声のかけ方・見守り方	ハラなどの防止に向けた情報	ストレスに関する情報	睡眠などの休養に関する情報	その他	わからない	無回答
全体	820	24.6%	32.6%	20.4%	53.5%	25.6%	25.2%	25.5%	17.8%	2.8%	9.0%	6.2%	
男性-10・20歳代	16	18.8%	50.0%	37.5%	43.8%	31.3%	31.3%	31.3%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%	
男性-30歳代	22	27.3%	36.4%	22.7%	36.4%	31.8%	63.6%	36.4%	13.6%	4.5%	4.5%	0.0%	
男性-40歳代	39	20.5%	41.0%	23.1%	51.3%	25.6%	33.3%	20.5%	23.1%	2.6%	12.8%	0.0%	
男性-50歳代	49	30.6%	46.9%	34.7%	46.9%	30.6%	24.5%	22.4%	16.3%	4.1%	4.1%	0.0%	
男性-60歳代	86	22.1%	26.7%	18.6%	54.7%	23.3%	25.6%	33.7%	17.4%	1.2%	11.6%	4.7%	
男性-70歳代	87	33.3%	39.1%	11.5%	54.0%	17.2%	23.0%	20.7%	9.2%	2.3%	11.5%	8.0%	
男性-80歳以上	36	44.4%	27.8%	16.7%	25.0%	36.1%	8.3%	25.0%	19.4%	5.6%	8.3%	8.3%	
女性-10・20歳代	27	18.5%	14.8%	37.0%	51.9%	29.6%	33.3%	40.7%	25.9%	7.4%	18.5%	3.7%	
女性-30歳代	42	14.3%	31.0%	35.7%	57.1%	38.1%	19.0%	21.4%	26.2%	0.0%	11.9%	2.4%	
女性-40歳代	67	13.4%	34.3%	31.3%	62.7%	31.3%	28.4%	34.3%	11.9%	0.0%	3.0%	4.5%	
女性-50歳代	71	23.9%	38.0%	16.9%	67.6%	21.1%	29.6%	22.5%	19.7%	7.0%	7.0%	2.8%	
女性-60歳代	111	23.4%	37.8%	17.1%	65.8%	25.2%	24.3%	29.7%	13.5%	1.8%	6.3%	2.7%	
女性-70歳代	113	24.8%	24.8%	12.4%	54.0%	26.5%	20.4%	19.5%	20.4%	1.8%	6.2%	15.0%	
女性-80歳以上	40	32.5%	17.5%	10.0%	27.5%	12.5%	15.0%	15.0%	30.0%	5.0%	17.5%	17.5%	

【問 26 その他の具体的な記述（主なもの）】

- 関係機関に相談したら、どんな情報が得られるかの広報が必要と思う
- 活気のある地域づくり（市役所といった遠いところからの啓示よりも近所づきあいといった近い関係のほうが大事だと思う）
- 気軽に診てもらえる場所を知らせる。情報を提供する

問 27 生きることを支えるための支援として、どのような対策が特に重要だと思いますか。（○は3つまで）

- 「身近な相談体制の充実・強化」が41.7%と最も高く、次いで「ひとり暮らしの高齢者などの孤立を防ぐ対策」が34.6%、「学校や職場におけるいじめやハラスメント（嫌がらせ）の防止教育」が30.2%、「学校での「いのち」に関する教育」が24.6%と続いています。
- 性別・年齢別で見ると、男性の10・20歳代、男女の30歳代は「学校や職場におけるいじめやハラスメント（嫌がらせ）の防止教育」が比較的高く、女性の10・20歳代は「精神科などの専門医へ受診しやすい環境づくり」が40.7%と比較的高くなっています。
- 男性の80歳以上は、「ひとり暮らしの高齢者などの孤立を防ぐ対策」が58.3%と比較的高く、同回答は女性の50歳代、70歳代、80歳以上も比較的高くなっています。
- 男女ともに30歳代、40歳代は「学校での「いのち」に関する教育」が比較的高く、女性の10・20歳代は、「SNS等を活用した情報発信」が29.6%と比較的高くなっています。



【性別・年齢別】

	回答者数	身近な相談体制の充実・強化	債務（借金返済）などの経済面での相談体制の充実	企業メンタルヘルス対策の促進	学校や職場におけるいじめやハラスメントの防止教育	へ受診しやすい環境づくり	精神科などの専門医への対応の充実	身近なかかりつけ医によるうつ病などへの対応	家庭での「いのち」に関する教育	学校での「いのち」に関する教育	うつ病や自殺に関する啓発活動	ひとり暮らしの高齢者などの孤立を防ぐ
全体	820	41.7%	10.4%	11.7%	30.2%	18.7%	16.3%	6.2%	24.6%	4.4%	34.6%	
男性-10・20歳代	16	43.8%	18.8%	25.0%	50.0%	31.3%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	12.5%	
男性-30歳代	22	31.8%	13.6%	22.7%	36.4%	13.6%	18.2%	9.1%	31.8%	4.5%	18.2%	
男性-40歳代	39	43.6%	25.6%	15.4%	30.8%	30.8%	7.7%	10.3%	30.8%	10.3%	20.5%	
男性-50歳代	49	44.9%	8.2%	26.5%	36.7%	22.4%	12.2%	2.0%	16.3%	10.2%	40.8%	
男性-60歳代	86	48.8%	11.6%	12.8%	22.1%	14.0%	19.8%	2.3%	22.1%	1.2%	36.0%	
男性-70歳代	87	41.4%	8.0%	4.6%	26.4%	17.2%	14.9%	11.5%	27.6%	5.7%	34.5%	
男性-80歳以上	36	55.6%	0.0%	5.6%	30.6%	13.9%	19.4%	2.8%	19.4%	0.0%	58.3%	
女性-10・20歳代	27	22.2%	25.9%	11.1%	29.6%	40.7%	18.5%	11.1%	33.3%	11.1%	25.9%	
女性-30歳代	42	42.9%	11.9%	16.7%	42.9%	23.8%	11.9%	2.4%	40.5%	2.4%	33.3%	
女性-40歳代	67	41.8%	10.4%	11.9%	32.8%	25.4%	19.4%	4.5%	31.3%	10.4%	32.8%	
女性-50歳代	71	42.3%	12.7%	18.3%	38.0%	19.7%	22.5%	5.6%	18.3%	4.2%	42.3%	
女性-60歳代	111	49.5%	9.9%	9.9%	33.3%	16.2%	18.9%	9.0%	24.3%	3.6%	26.1%	
女性-70歳代	113	36.3%	6.2%	4.4%	28.3%	12.4%	13.3%	8.0%	23.0%	1.8%	44.2%	
女性-80歳以上	40	27.5%	5.0%	7.5%	7.5%	12.5%	10.0%	0.0%	17.5%	0.0%	35.0%	

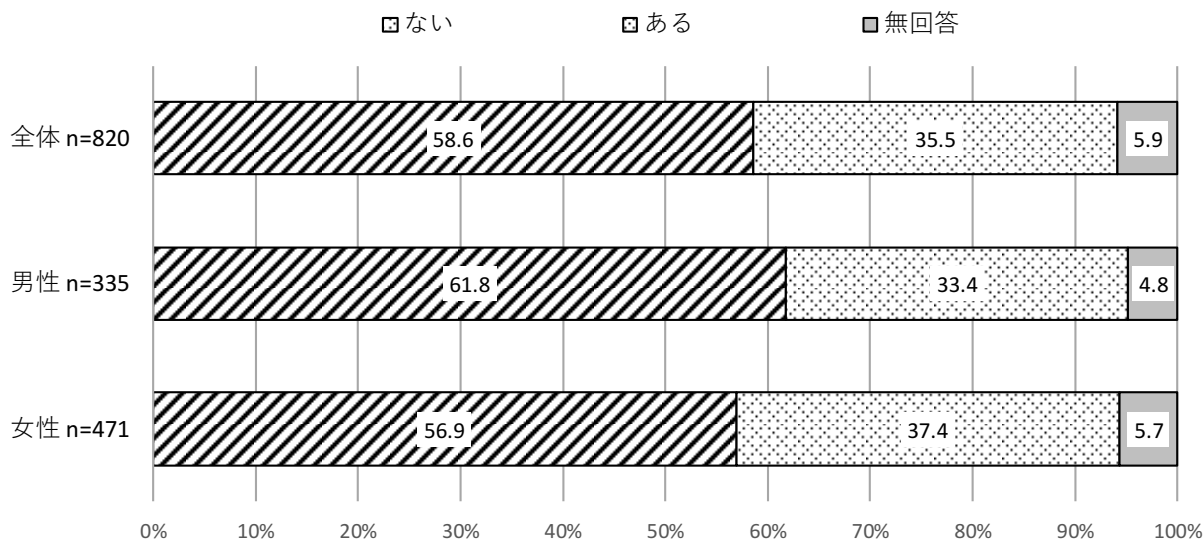
	回答者数	教師、職場の上司への研修	窓口業務に従事する職員への研修	PR・情報発信	支えること、支えるための取り組み	地域で見守るネットワークの充実	孤立化しやすい人を地域で支える	傾聴ボランティアなどの活動	SNS等を活用した情報発信	の被害者や家族への支援	犯罪や交通事故などへの支援	自殺未遂者、自死遺族などへの支援	その他	無回答
全体	820	6.2%	5.9%	11.6%	16.6%	7.1%	4.1%	8.9%	3.3%	3.5%	7.4%			
男性-10・20歳代	16	18.8%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%			
男性-30歳代	22	27.3%	0.0%	4.5%	18.2%	0.0%	9.1%	22.7%	9.1%	13.6%	0.0%			
男性-40歳代	39	17.9%	5.1%	10.3%	10.3%	7.7%	5.1%	12.8%	5.1%	2.6%	0.0%			
男性-50歳代	49	10.2%	2.0%	6.1%	12.2%	4.1%	4.1%	8.2%	0.0%	2.0%	2.0%			
男性-60歳代	86	2.3%	7.0%	14.0%	14.0%	3.5%	1.2%	11.6%	2.3%	3.5%	3.5%			
男性-70歳代	87	2.3%	8.0%	14.9%	16.1%	4.6%	1.1%	6.9%	0.0%	4.6%	10.3%			
男性-80歳以上	36	2.8%	8.3%	5.6%	11.1%	5.6%	2.8%	8.3%	0.0%	2.8%	13.9%			
女性-10・20歳代	27	7.4%	0.0%	3.7%	11.1%	3.7%	29.6%	7.4%	14.8%	0.0%	7.4%			
女性-30歳代	42	11.9%	0.0%	2.4%	14.3%	4.8%	9.5%	21.4%	9.5%	2.4%	2.4%			
女性-40歳代	67	6.0%	4.5%	10.4%	11.9%	7.5%	4.5%	6.0%	4.5%	4.5%	1.5%			
女性-50歳代	71	2.8%	7.0%	12.7%	21.1%	15.5%	4.2%	8.5%	4.2%	7.0%	1.4%			
女性-60歳代	111	0.9%	6.3%	17.1%	25.2%	9.0%	3.6%	9.0%	3.6%	0.9%	3.6%			
女性-70歳代	113	7.1%	9.7%	15.9%	20.4%	10.6%	2.7%	5.3%	0.9%	2.7%	13.3%			
女性-80歳以上	40	7.5%	2.5%	7.5%	12.5%	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	35.0%			

【問 27 その他の具体的な記述（主なもの）】

- 年齢に関係なく就業できる職場を増やしてほしいと思います。生きるためには最低限の生活を送りたいと誰もが思っています。
- 信用できる支援体制づくり
- 悩んでいる時、こんなたくさんの中から選べない、何でもOKの場所が必要かもと思う

**問 28 あなたはこれまでに、生きるのが辛いと考えたことはありますか。(○は1つ)**

- 生きるのが辛いと考えたことは、「ない」が 58.6%、「ある」が 35.5%となっています。
- 性別で見ると、「ない」は男性が 61.8%、女性は 56.9%で、「ある」は男性が 33.4%、女性が 37.4%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、女性の 40 歳代のみ、「ある」と「ない」が同程度となっています。
- 世帯構成別で見ると、「ある」は、ひとり暮らしが 50.0%、配偶者との現在の関係別で見ると、「ある」は「配偶者・パートナーはいない」が 54.1%と比較的高くなっています。
- 職業別で見ると、「ある」は、「無職(求職中)」が 60.0%で最も高く、会社員・団体職員等(役員・管理職以外)が 48.6%、パート・アルバイトが 47.3%と比較的高くなっています。
- 町内の人や近所の人との交流機会の有無別で見ると、「ある」は、交流機会が「ほとんどない」が 47.6%、家庭の家計の余裕別で見ると、「ある」は、「全く余裕がない」が 56.9%と比較的高くなっています。
- 生きるのが辛いと感じたことの有無別に、日頃の悩みや苦勞、ストレス、不満についての回答をみると、生きるのが辛いと感じたことが「ある」人の抱える問題は、「病気など健康の問題」が 52.6%と最も高く、次いで「家庭の問題」(38.5%)、「経済的な問題」(31.6%)となっています。
- 生きるのが辛いと感じたことの有無別に、日々の生活の中で感じていることの回答をみると、生きるのが辛いと感じたことが「ある」場合は、無回答を除くと、「ちょっとしたことでイライラしたり、不安に感じることもある」が 22.7%と最も高く、次いで「何をするにも面倒だと感じることもある」(19.2%)。「気分が沈み、気が晴れないように感じることもある」(13.7%)となっています。



※性別の無回答者が 14 名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

【性別・年齢別】

性別・年齢	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
男性-全体	335	61.8%	33.4%	4.8%
男性-10・20歳代	16	56.2%	43.8%	0.0%
男性-30歳代	22	50.0%	45.5%	4.5%
男性-40歳代	39	53.8%	43.6%	2.6%
男性-50歳代	49	51.1%	46.9%	2.0%
男性-60歳代	86	60.5%	37.2%	2.3%
男性-70歳代	87	75.9%	17.2%	6.9%
男性-80歳以上	36	63.9%	22.2%	13.9%
女性-全体	471	56.9%	37.4%	5.7%
女性-10・20歳代	27	51.9%	48.1%	0.0%
女性-30歳代	42	54.7%	42.9%	2.4%
女性-40歳代	67	49.2%	49.3%	1.5%
女性-50歳代	71	47.9%	45.1%	7.0%
女性-60歳代	111	57.7%	40.5%	1.8%
女性-70歳代	113	67.3%	23.0%	9.7%
女性-80歳以上	40	60.0%	22.5%	17.5%

※性別の無回答者が14名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

【世帯構成別】

	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
ひとり暮らし	74	41.9%	50.0%	8.1%
夫婦ふたり暮らし	190	61.6%	32.1%	6.3%
親と子（2世代）	364	57.4%	36.8%	5.8%
祖父母と親と子（3世代）	121	68.5%	29.8%	1.7%
その他	62	61.3%	33.9%	4.8%

※世帯構成の無回答者が9名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

【配偶者との現在の関係別】

	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
同居している	562	64.4%	30.4%	5.2%
単身赴任中	12	50.0%	50.0%	0.0%
別居している	8	12.5%	62.5%	25.0%
離別・死別した	100	54.0%	39.0%	7.0%
配偶者・パートナーはいない	124	41.9%	54.1%	4.0%

※配偶者との関係についての無回答者が14名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

### 【職業別】

	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
会社・団体などの役員	25	68.0%	24.0%	8.0%
会社員・団体職員等（管理職）	29	65.6%	31.0%	3.4%
会社員・団体職員等（役員・管理職以外）	181	48.6%	48.6%	2.8%
自営業（事業経営・個人商店など）	33	75.7%	18.2%	6.1%
派遣	8	75.0%	25.0%	0.0%
パート・アルバイト	129	51.9%	47.3%	0.8%
専業主婦・主夫	94	67.0%	29.8%	3.2%
学生	8	62.5%	37.5%	0.0%
自由業（専門的知識や技術を生かした職業）	12	66.7%	33.3%	0.0%
その他	27	74.1%	22.2%	3.7%
無職（求職中）	5	40.0%	60.0%	0.0%
無職（仕事をしたいが、現在は求職していない）	49	53.1%	36.7%	10.2%
無職（仕事をしたいと思っていない）	23	60.9%	21.7%	17.4%
無職（その他、高齢等）	189	61.9%	25.9%	12.2%

※職業の無回答者が8名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

### 【町内の人や近所の人との交流機会の有無別】

	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
よくある	244	64.4%	26.6%	9.0%
ときどきある	349	59.9%	36.4%	3.7%
あまりない	141	54.7%	41.8%	3.5%
ほとんどない	82	43.9%	47.6%	8.5%

※交流機会についての無回答者が4名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

### 【家庭の家計の余裕別】

	回答者数	ない	ある	無回答
全体	820	58.6%	35.5%	5.9%
全く余裕がない	79	38.0%	56.9%	5.1%
あまり余裕がない	264	57.2%	37.9%	4.9%
どちらともいえない	187	56.6%	36.4%	7.0%
ある程度余裕がある	240	66.6%	28.8%	4.6%
かなり余裕がある	10	80.0%	20.0%	0.0%
分からない	32	59.3%	21.9%	18.8%

※家計の余裕についての無回答者が8名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。



【生きるのが辛いと感じたことの有無別の悩みや苦勞、ストレス、不満】

	合計	家庭の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）	病気など健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み等）	経済的な問題（倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮等）	勤務関係の問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等）	恋愛関係の問題（失恋、結婚を巡る悩み等）	学校の問題（いじめ、学業不振、教師との人間関係等）	その他	無回答
全体	820	26.5%	37.7%	19.9%	15.7%	4.5%	1.7%	6.0%	41.0%
ある	291	38.5%	52.6%	31.6%	27.5%	8.6%	2.1%	9.3%	22.7%
ない	481	20.4%	28.9%	13.1%	9.6%	2.5%	1.5%	3.5%	50.9%

※生きるのが辛いと感じたことの有無の無回答者が48名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

【生きるのが辛いと感じたことの有無別の日々の生活の中で感じていること】

	合計	ちょっとしたことでイライラしたり、不安に感じることがある	絶望的だと感じる	そわそわ落ち着かなく感じることがある	気分が沈み、気が晴れないように感じることがある	何をするにも面倒だと感じることがある	自分は価値のない人間だと感じることがある	無回答
全体	820	13.7%	3.7%	3.2%	6.2%	10.2%	5.7%	78.7%
ある	291	22.7%	7.9%	6.9%	13.7%	19.2%	12.4%	64.3%
ない	481	7.5%	0.8%	0.6%	1.7%	4.6%	1.2%	88.1%

※生きるのが辛いと感じたことの有無の無回答者が48名いるため、合計数は全体の回答者数とは一致しません。

### 3 調査票



## こころの健康と生きるための支援に関する 焼津市民意識調査



～調査ご協力のお願い～

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この調査は、市民の皆様のこころの健康に関する皆様の現状やお考えなどをお聞きし、こころの健康と生きるための支援を推進するための基礎資料とするために実施するものです。今回、市内にお住まいの18歳以上の方2,000人を住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

本市において、このような調査を実施するのは初めてのことであり、市全体の実情や傾向を把握するために大変貴重な調査となります。誰もが安心して生活できる地域社会づくりにつなげるために、無理のない範囲で、ぜひご協力ください。

なお、回収された調査票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありませんので、ご安心ください。

ご多忙のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月

焼津市長 中野 弘道

#### <ご記入いただく上でのお願い>

- ◆この調査は、あなたご自身のお考えでご記入ください。ご本人が記入できない場合は、ご家族など身近な方がご本人から話を聞いて記入してください。
- ◆調査票には、濃い鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- ◆回答にあたっては、特に説明のない限り、当てはまる項目を選び、その番号を○で囲んでください。回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えにできる限り近いものを選ぶようにしてください。
- ◆なお、設問には「(○は1つ)」、「(それぞれに○は1つ)」、「(○はいくつでも)」などと書いてありますので、それぞれの指示にしたがってお答えください。
- ◆回答が「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが、\_\_\_\_\_の部分になるべく具体的にその内容を記入してください。
- ◆一部の方だけお答えいただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお答えください。
- ◆すべての設問に回答いただけると幸いです。答えにくかったり、答えなくなったりする設問については、回答いただかなくても結構です。
- ◆この調査についてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。  
調査主体：焼津市地域福祉課（障害支援担当）  
電話：054-626-1127 FAX：054-626-2189

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、8月10日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

## 1 はじめに、あなたのことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢(4月1日現在)を教えてください。(〇は1つ)

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 | 7 70歳代  |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 | 8 80歳以上 |
| 3 30歳代 | 6 60歳代 |         |

問3 あなたがお住まいの地域は、次のどちらですか。(〇は1つ)

- |      |       |       |
|------|-------|-------|
| 1 焼津 | 4 小川  | 7 大富  |
| 2 大村 | 5 港   | 8 和田  |
| 3 豊田 | 6 東益津 | 9 大井川 |

問4 現在のお住まいでの居住年数はどのくらいですか。(数字を記入)

約  年 ※1年未満の場合は「1」年と記入してください。

問5 あなたの家の世帯構成をお選びください。(〇は1つ)

- |            |                |       |
|------------|----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし   | 3 親と子(2世代)     | 5 その他 |
| 2 夫婦ふたり暮らし | 4 祖父母と親と子(3世代) |       |

問6 配偶者との現在の関係をお選びください。(〇は1つ)

- |          |           |                 |
|----------|-----------|-----------------|
| 1 同居している | 3 別居している  | 5 配偶者・パートナーはいない |
| 2 単身赴任中  | 4 離別・死別した |                 |

問7 あなたの主たるご職業をお選びください。(〇は1つ)

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 会社・団体などの役員              | 9 自由業(個人で、自分の専門的知識や技術を生かした職業に従事) |
| 2 会社員・団体職員等(管理職)          | 10 その他(具体的に)<br>: _____          |
| 3 会社員・団体職員等<br>(役員・管理職以外) | 11 無職(求職中)                       |
| 4 自営業(事業経営・個人商店など)        | 12 無職<br>(仕事をしたいが、現在は求職していない)    |
| 5 派遣                      | 13 無職(仕事をしたいと思っていない)             |
| 6 パート・アルバイト               | 14 無職(その他、高齢等)                   |
| 7 専業主婦・主夫                 |                                  |
| 8 学生                      |                                  |

問8 あなたは、町内の人や近所の人と話をしたり、交流したりする機会はありますか。(〇は1つ)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 よくある   | 3 あまりない  |
| 2 ときどきある | 4 ほとんどない |

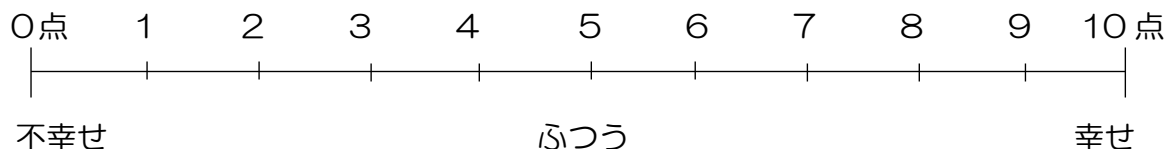
問9 あなたの身の回りの人間関係はどうか教えてください。(それぞれに○は1つ)

①家族	1 良い 2 まあ良い	3 あまり良くない 4 良くない
②友人	1 良い 2 まあ良い	3 あまり良くない 4 良くない
③学校や職場 (または地域)	1 良い 2 まあ良い	3 あまり良くない 4 良くない

問10 ご家庭の家計の余裕はどの程度あるか教えてください。(○は1つ)

1 全く余裕がない	4 ある程度余裕がある
2 あまり余裕がない	5 かなり余裕がある
3 どちらともいえない	6 分からない

問11 あなたは現在、どの程度幸せですか。「幸せ」を10点で表すと、何点だと思えますか。数字に○を付けてください。(○は1つ)



## II 悩みやストレスに関しておたずねします

問12 あなたは日頃、aからgのそれぞれの問題に関して、悩みや苦勞、ストレス、不満を感じることがありますか。(それぞれに○は1つ)

		こ 意 識 し て い ない 感 じ た	今 以 前 は あ っ た が	現 在 あ る
a	家庭の問題 (家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等)	1	2	3
b	病気など健康の問題 (自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み等)	1	2	3
c	経済的な問題 (倒産、事業不振、借金、失業、生活困窮等)	1	2	3
d	勤務関係の問題 (転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等)	1	2	3
e	恋愛関係の問題 (失恋、結婚を巡る悩み等)	1	2	3
f	学校の問題 (いじめ、学業不振、教師との人間関係等)	1	2	3
g	その他 (具体的に): _____	1	2	3

問 13 あなたは日々の生活の中で、次のように感じることはありませんか。  
 (それぞれに○は1つ)

		全くない	少しだけある	時々ある	よくある	いつもある
a	ちょっとしたことでイライラしたり、不安に感じることもある	1	2	3	4	5
b	絶望的だと感じることもある	1	2	3	4	5
c	そわそわ落ち着かなく感じることもある	1	2	3	4	5
d	気分が沈み、気が晴れないように感じることもある	1	2	3	4	5
e	何をするにも面倒だと感じることもある	1	2	3	4	5
f	自分は価値のない人間だと感じることもある	1	2	3	4	5

問 14 あなたは日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレスを解消するために、次のことをどのくらいしますか。(それぞれに○は1つ)

		全くしない	あまりしない	時々する	よくする	いつもする
a	運動する	1	2	3	4	5
b	お酒を飲む	1	2	3	4	5
c	休養や睡眠をとる	1	2	3	4	5
d	人に話を聞いてもらう	1	2	3	4	5
e	趣味やレジャーをする	1	2	3	4	5
f	我慢する	1	2	3	4	5
g	その他(具体的に): _____	1	2	3	4	5

問 15 にお答えいただく前に、以下をお読みください。

参考：以下に挙げた症状を「うつ病のサイン」といいます

○自分で感じる症状

気分が沈む、悲しい、イライラする、集中力がない、好きなこともやりたくない、大事なことを先送りする、物事を悪いほうへ考える、決断ができない、自分を責める、生きるのが辛くなる

○周りから見てわかる症状

表情が暗い、涙もろい、反応が遅い、落ち着きがない、飲酒量が増える

○身体に出る症状

眠れない、食欲がない、便秘がち、身体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛、動悸、胃の不快感、めまい

※このような症状が2週間以上続く場合、うつ病の可能性があるとされています。

問 15 あなたは、もし仮に、上記のような「うつ病のサイン」が2週間以上続く場合、医療機関を受診しますか。(○は1つ)

- 1 かかりつけ医を受診する
- 2 精神科（心療内科やメンタルクリニック等）の専門医療機関を受診する
- 3 受診しない
- 4 わからない

問 15 で「3 受診しない」と回答された方にお聞きします。  
(他の方は、問 16 へお進みください。)

問 15-1 それはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 自然に治るだろうから         | 9 医療機関では治せないから      |
| 2 自分で解決できるから         | 10 相談の秘密が漏れるのが不安だから |
| 3 お金がかかるから           | 11 なるべく薬に頼りたくないから   |
| 4 待ち時間がかかるから         | 12 家族・友人が反対するだろうから  |
| 5 周囲の目が気になるから        | 13 交通手段がないから        |
| 6 仕事や家族の世話で忙しいから     | 14 その他（具体的に）        |
| 7 どこを受診すればいいかわからないから | ：                   |
| 8 体調を崩すのは自分自身が原因だから  |                     |



### III 相談することについておたずねします

問 16 あなたは悩みやストレスを感じた時に、どう考えますか。(それぞれに○は1つ)

	そう 思わない	あまり そう 思わない	どちらとも いえない	やや そう 思う	そう 思う
a 助けを求めたり、誰かに相談したいと思う	1	2	3	4	5
b 誰かに相談をしたりすることは恥ずかしいことだと思う	1	2	3	4	5
c 悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う	1	2	3	4	5
d 誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだと思う	1	2	3	4	5
e 悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う	1	2	3	4	5

問 17 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の人々に相談すると思いますか。  
(それぞれに○は1つ)

	相 談 し な い と 思 う	実 際 に し た こ と は な い が 、 相 談 す る と 思 う	相 談 し た こ と が あ る
a 家族や親族	1	2	3
b 友人や同僚	1	2	3
c インターネット上だけのつながりの人	1	2	3
d 先生や上司	1	2	3
e 近所の人（自治会の人、民生委員など）	1	2	3
f かかりつけの医療機関の職員（医師、看護師、薬剤師など）	1	2	3
g 公的な相談機関（地域包括支援センター、市役所など）の職員など	1	2	3
h 民間の相談機関（有料のカウンセリングセンターなど）の相談員	1	2	3
i 同じ悩みを抱える人	1	2	3
j 市が開催する各種相談会（法律、税務などの相談）の専門家	1	2	3
k その他（具体的に）： _____	1	2	3

問 18 あなたは悩みやストレスを感じた時に、以下の方法を使って悩みを相談したいと思いませんか。（それぞれに○は1つ）

	利用しない と思う	実際には 利用す ると思 う	利用 した こと が ある
a 直接会って相談する（訪問相談を含む）	1	2	3
b 電話を利用して相談する	1	2	3
c メールを利用して相談する	1	2	3
d LINE や Facebook などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して相談する	1	2	3
e Twitter や掲示板などを利用してインターネット上の不特定多数に流す	1	2	3
f インターネットを利用して解決法を検索する	1	2	3
g その他 （具体的に）： _____	1	2	3

#### IV 相談を受けることについておたずねします

問 19 理由は分からないけれども、身近な人がいつもと違った様子で辛そうに見えた時に、あなたがどうするかについてお聞きします。（それぞれに○は1つ）

	し ない	し あ ま い り	時 々 す る	よ く す る
a 相手が相談をしてくるまで何もしないで待つ	1	2	3	4
b 心配していることを伝えて見守る	1	2	3	4
c 自分から声をかけて話を聞く	1	2	3	4
d 「元気を出して」と励ます	1	2	3	4
e 先回りして相談先を探しておく	1	2	3	4
f その他 （具体的に）： _____	1	2	3	4



## V 生きてることが辛いと思っている人に対し、あなたはどうしますか

問 20 あなたは、辛いことが多く限界を感じ生死を考えている人に対して、どのように思いますか。(それぞれに○は1つ)

その他に思うことがあれば、「その他」の欄にご記入ください。

	そう 思わない	ど ち ら か と 思 わ な い	ど ち ら も い え な い	ど ち ら か と 思 う	そう 思う
a 生死は最終的に本人の判断に任せるべき	1	2	3	4	5
b 生きていれば良いことがある	1	2	3	4	5
c 周囲の人が止めることはできない	1	2	3	4	5
d 自分にはあまり関係がない	1	2	3	4	5
e 本人の弱さから起こる	1	2	3	4	5
f 防ぐことができる場合も多い	1	2	3	4	5
g 生きるのが辛いと思った人の多くは、何らかのサインを発している	1	2	3	4	5
h 生きるのが辛いと考える人は、様々な問題を抱えていることが多い	1	2	3	4	5
i 生きるのが辛いと考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている	1	2	3	4	5
その他（具体的に）：					

問 21 もし身近な人から「悩んでいる」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。(○はいくつでも)

1 相談に乗らない、もしくは話題を変える	7 解決策を一緒に考える
2 「頑張って」と励ます	8 一緒に相談機関を探す
3 「死んではいけない」と説得する	9 その他（具体的に）
4 「バカなことを考えるな」と叱る	：
5 耳を傾けてじっくりと話を聞く	10 何もできない
6 医療機関にかかるよう勧める	

問 21 で「10 何もできない」と回答された方にお聞きします。  
(他の回答の方は、問 22 へお進みください。)

問 21-1 何もできない理由は何ですか。(〇は 1 つ)

- 1 身近な人が対応するのではなく、専門的機関が行うべきことだと思うから
- 2 相談を受けても、声のかけ方や接し方などの対応に自信がないから
- 3 相談を受けても、適切な助言ができる知識や情報を把握していないから
- 4 その他(具体的に): \_\_\_\_\_

## VI 生きることを支える啓発活動についておたずねします

問 22 あなたはこれまで、自殺予防週間やこころの健康に関する啓発物(案内・広告等)を見たことがありますか。(〇は 1 つ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問 22 で「1 はい」と回答された方は、問 22-1 ~ 問 22-3 にお答えください。  
(「2 いいえ」と答えた方は、問 23 へお進みください。)

問 22-1 あなたがこれまでに見たことがある啓発物は何ですか。  
(〇はいくつでも)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 ポスター        | 6 インターネットページ       |
| 2 パンフレット      | 7 ティッシュ等のキャンペーングッズ |
| 3 広報誌         | 8 横断幕              |
| 4 電光掲示板(テロップ) | 9 その他              |
| 5 のぼり・パネル     | : _____            |

問 22-2 その啓発物は、どこで見ましたか。(〇はいくつでも)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 市役所・保健所等の行政機関     | 5 家          |
| 2 図書館・保健センター等の公共施設  | 6 職場・学校      |
| 3 駅、電車・バス等の交通機関     | 7 インターネット上   |
| 4 スーパー・コンビニ店舗等の民間施設 | 8 その他: _____ |

問 22-3 その啓発物を見たとき、あなたはどうしましたか。(〇は 1 つ)

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 1 読まなかった             | 4 大体読んだ |
| 2 少し目を通したがほとんど読まなかった | 5 全部読んだ |
| 3 少し読んだ              |         |

問 23 生きることを支えることに関する講演会や講習会に参加したことがありますか。  
(○は1つ)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 24 生きることを支えるための PR 活動（啓発物や講演会など）についてどのように思いますか。(○は1つ)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 必要         | 3 どちらかといえば必要ない |
| 2 どちらかといえば必要 | 4 必要ない         |

問 25 あなたは、次の法律や言葉、窓口等を知っていますか。(○はいくつでも)

- |                        |
|------------------------|
| 1 生活困窮者自立支援法           |
| 2 ゲートキーパー              |
| 3 こころの健康相談統一ダイヤル       |
| 4 こころの電話・若者こころの悩み相談窓口  |
| 5 法テラス                 |
| 6 地域包括支援センター           |
| 7 障害の相談支援事業所           |
| 8 自殺対策基本法              |
| 9 自殺総合対策推進センター         |
| 10 静岡県地域自殺対策推進センター     |
| 11 自殺予防週間／自殺対策強化月間     |
| 12 焼津市いじめ防止等のための基本的な方針 |
| 13 いずれも、見たり聞いたりしたものはない |

問 26 あなたは、生きるための支援について、市役所がどのような情報を市民に知らせていくことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1 生きるための支援は社会全体の問題であることなど啓発を含めた情報                                  |
| 2 生きるための支援に対する正しい知識（生きることに悩むのは様々な要因が複雑に関係し、うつ病などの精神疾患を発症する場合も多いなど） |
| 3 うつ病に関する情報（うつ病の症状や対処方法など）   |
| 4 悩みに応じた専門の相談機関・医療機関に関する情報   |
| 5 家庭や職場等での、こころの健康に配慮した声のかけ方・見守り方                                   |
| 6 いじめやセクハラ・パワハラなどの防止に向けた情報   |
| 7 ストレスに関する情報（ストレスを自分でチェックして適切に受け止める方法や、ストレスをためないコミュニケーションの取り方など）   |
| 8 睡眠などの休養に関する情報（休養の大切さや効果的な休養の方法など）                                |
| 9 その他（具体的に）： _____   |
| 10 わからない   |

問 27 生きることを支えるための支援として、どのような対策が特に重要だと思いますか。  
(○は3つまで)

- 1 身近な相談体制の充実・強化
- 2 債務（借金返済）など経済面での相談体制の充実
- 3 企業などでの従業員のメンタルヘルス対策の促進
- 4 学校や職場におけるいじめやハラスメント（嫌がらせ）の防止教育
- 5 精神科などの専門医へ受診しやすい環境づくり
- 6 内科や外科などの身近なかかりつけ医によるうつ病などへの対応の充実
- 7 家庭での「いのち」に関する教育
- 8 学校での「いのち」に関する教育
- 9 うつ病や自殺に関する市民への啓発活動
- 10 ひとり暮らしの高齢者などの孤立を防ぐ対策
- 11 教師、職場の上司など相談に応じる人への研修
- 12 市職員や公的団体職員などの窓口業務に従事する職員への研修
- 13 生きることを支える支援の取り組みについての PR・情報発信
- 14 孤立化しやすい人を地域で見守るネットワークの充実
- 15 傾聴サロンなど話や悩みを聞いてくれる場所やボランティア活動の充実
- 16 SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等を活用した情報発信
- 17 犯罪や交通事故などの被害者や家族・ご遺族の方々への支援
- 18 自殺未遂者、自死遺族などへの支援
- 19 その他（具体的に）： \_\_\_\_\_

問 28 あなたはこれまでに、生きるのが辛いと考えたことはありますか。(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 ない | 2 ある |
|------|------|

☆これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

**記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、  
平成 30 年 8 月 10 日(金)までに郵便ポストに投函してください。**



---

**こころの健康と生きるための支援に関する  
焼津市民意識調査結果報告書**

---

平成 30 年 10 月

焼津市健康福祉部地域福祉課

〒425-8502 静岡県焼津市本町 2-16-32

電話：054-626-1127（直通）